



ふなばし美術学院



2024 入学案内

油画科 日本画科 デザイン・工芸科 総合受験部
先端芸術・映像科 建築科 基礎科 中学コース 学科

Funabashi Art School Guide Book





明日への美術に向けて。

どんな素晴らしい芸術家やデザイナーにも、そのスタートの時点においては、自然や事物をよく観察して描いたり、イメージしたり、感覚的論理を応用したりするなどの制作体験の継続と地道な研究、模索がありました。

今、その初めに位置する諸君も同様に、新鮮で豊かで自由な感動や、無心にもものをとらえて描くこと・造ることの行為等を積み重ね、造形思考や、意識、技術を深めるとともに、何よりも情熱の持続なくしては自己の感性や表現力を豊かに開花させることはできないでしょう。美術やデザインを学ぶことが、美しさや生命を愛し、人々に限らない夢や希望を与えるとともに、

自己の生きがいや共に生きる喜びを創造する可能性を大きく秘めている限り、これからも益々自由な魅力あふれる展開を見せてくれることでしょう。現在の個性化、多様化する美術状況は「伝統的なものに根ざす創造」と、従来とは発想や技術・素材等の異なる「新しい分野での創造」を志向する流れが、相互に影響しつつ現代の美術に向かっていくように思われます。

芸大美大入試もますます多様化してきましたが、それを超えていくには、

高い目標を持ち、しっかりとした基礎力と豊かな感性や知性に支えられた「確かな表現力・創造力」が必要です。

明日への美術に向けて、皆さんの若さ溢れるエネルギーに期待します。

鈴木善雄

ふなばし美術学院 創立者



Funabashi Art School Guide Book 2024

CONTENTS

■	いろいろ選べる美術系の進路/合格に向けて	02
■	ふな美のコース案内	04
■	年間スケジュール/指導方針と強化システム	06
■	油画科 [昼間部]	08
	OIL PAINTING	
■	油画科 [夜間部]	10
	OIL PAINTING	
■	日本画科 [昼間部]	14
	JAPANESE PAINTING	
■	日本画科 [夜間部]	18
	JAPANESE PAINTING	
■	デザイン・工芸科 [昼間部]	20
	DESIGN & CRAFT	
■	デザイン・工芸科 [夜間部]	30
	DESIGN & CRAFT	
■	総合受験部	32
	FEW DAYS CLASS	
■	絵画科 [総合受験部] _____	34
	PAINTING	
■	デザイン科 [総合受験部] _____	35
	DESIGN	
■	先端芸術・映像科 [総合受験部] _____	36
	MEDIA ARTS & IMAGE	
■	建築科 [総合受験部] _____	40
	ARCHITECTURE	
■	基礎科 [高校生]	42
	BASIC SECTION	
■	基礎科 [中学生]	48
	BASIC JUNIOR SECTION	
■	学科	50
	LECTURE	
■	通信教育課程	52
	POSTAL COURSE	
■	無料体験・公開イベント	54
■	合格実績・付属設備	56
■	生徒支援・保護者教職員の皆様へ	58
■	環境・沿革・指導スタッフ	60

沿革・学生サポート制度

■ 基礎科 中学生クラス増設

高校受験の芸術系実技に対応した中学生コースを従来の日曜に加え土曜も増設いたしました。3時間授業で4クラスから選択することができるようになり、より長く描きたいという生徒は6時間の実習も可能になりました。各校推薦入試用の絵画制作もフォロー致します。もちろん、描くことが好きな中学生なら誰でも1年生から参加することができますので、ぜひご参加ください。

■ 遠隔地特待生制度

千葉県・東京都を除く他県在住の皆さんが本学への入学を希望される場合、学費の一部を減免する制度です。また、東京都内・千葉県内でも通学に長時間を要する本課程入学希望者には、通学定期券購入に加え、交通費の一部を学費から減免いたします。

■ 宿泊費用補助制度

ふだん本学には通えない通信教育課程の学生や、地方・遠隔地の皆さんが本学各期講習会等に参加する場合、学生会館をはじめ本学所定の施設を利用するにあたって宿泊費用の一部を講習会学費から減免する制度を設けました。

いろいろ選べる美術系の進路

描いて創って未来へ！なぜ美術系への進学を目指すのか？



図は代表的な美術系の仕事や職業を、領域ごとに分類したものです。日頃みなさんが目にする物のほとんどに美術やデザインを学んだ人達の力が活かされています。また、大きく「美術系」と捉えた進路の中にも様々な専攻領域があり、それぞれの分野が社会での役割に結びついています。

まずは自分の周りを見渡し、好きな物や興味を持った事について調べてみましょう。そうして、どんな人がそれを創ったのか、どんな勉強をしてその職業に就いたのかなど、「好奇心」をエネルギーにして目標を持つところがスタートです。技術や感性を磨きながら夢を追いかける旅に出ましょう！

合格に向けて

美術系大学・高校の実技試験に対応した、適切な科やコースを選びましょう！



春期講習から希望の専攻科へ！

ふな美のコース案内

個々のニーズにしっかり対応、バランス重視のカリキュラム!



昼間部 DAY CLASS

高校卒業生 対象 (通信制高校生で昼間授業に参加できる高校生も入学可)

実技授業 月～土(9:30～16:30) + 夜間実技強化講座 月～土(17:30～20:30)
+ 選択学科 木・金(17:30～20:30)

■ 昼間部 油画科

■ 昼間部 日本画科

■ 昼間部 デザイン・工芸科

週6日の安定したカリキュラムに加えて、夜間実技強化講座も授業料に含まれています。また、夜間実技強化講座の内、週2日を選択学科に変更することも可能です。東京藝術大学及び多摩美術・武蔵野美術大学等の私立美大に対応し、通学定期も利用可能な本課程です。例えば1学期は学科重視で学力をつけ、2学期は実技に集中するといった受講も可能です。とにかく実技力をアップしたい人は、夜間強化講座も合わせて参加してください。

	月	火	水	木	金	土
9:30	昼間部 実技授業					
16:30						
17:30	夜間実技強化講座			選択学科 木・金		
20:30						

※実技の夜間強化授業との併用を可能にするため曜日が変わることもあります。

夜間部 NIGHT CLASS

高校3年生・高校卒業生 対象

実技授業 月～土(17:30～20:30) + 選択学科 土(14:00～16:50)

■ 基礎科 S受験クラス

高校2年生の実技経験者

実技授業 月～土(17:30～20:30)

■ 夜間部 油画科

■ 夜間部 日本画科

■ 夜間部 デザイン・工芸科

週6日のカリキュラムに加え、希望者は毎週土曜日の学科授業を追加できます。(一部オプション) 東京藝術大学及び多摩美術・武蔵野美術大学等の私立美大に対応し、通学定期も利用可能な本課程です。昼間部の夜間実技強化講座と一部課題連携をとることで、入試のレベルを体感し、一歩進んだ実力をつけることができます。

	月	火	水	木	金	土
9:30	高校の授業時間					選択学科 ※詳細はP50 学科を参照
16:30						土曜午前学科 10:00～12:50
17:30	夜間部 実技授業					
20:30						

■ 基礎科 ● S受験クラス 夜間部受験各科で月～土に実技実習を行います。(1・2学期)

- 昼間部は夜間実技強化講座を追加した場合も通常学費内で実習が可能です。
- 昼間部夜間実技強化講座は担当講師と相談しながら随時参加することが可能です。また、指導上担当講師より参加をお勧めすることがあります。
- 学科講座は昼間部・夜間部とも追加の学費が必要となります。
- 昼間部夜間学科・夜間部土曜学科は事前登録制です。お申し込み時に指定してください。(変更可)
- いずれの学科授業も学院で行うテスト結果等によりクラス分けを行うことがあります。
- 基礎科S受験クラスの実技実習は、全て夜間部受験各科と同じカリキュラムとなります。

志望校の違いから実技と学科の弱点補強まで、選択制を持たせたカリキュラミングとなっています。
 選択変更やステップアップにも柔軟に対応していますので、一人一人がしっかりと力をつけることが出来るよう
 バックアップしていきます。各期講習会では昼夜間部でコンクールを行うなど、現役生が一歩進んだ実技力をつけられるように、
 また選択学科もレベル別にフォローできるよう受講期間を調整してバランスよく学習できます！

総合受験部 FEW DAYS CLASS

高校生・高校卒業生 対象

平日クラス 実技授業 月～金 (科別指定日17:30～20:30)

土曜クラス 実技授業 土 (建築科のみ14:00～20:30)

日曜クラス 実技授業 日 (全科 9:30～16:30)

学科重視で実技はコンパクトにという人から、
 部活動立、経済的な理由のある人まで
 対応します！

- 絵画科
- デザイン科
- 建築科
- 先端芸術・映像科

本課程各料の週6日授業に対し、週1～3日で効率よく実技対策を行うのが総合受験部です。志望校の学科配点比率が高い、部活動で毎日通えない、遠隔地在住のため週末しか授業に参加できない等、受験生個々の状況は様々です。また、各大学の総合型選抜や学校推薦で秋に本格的な入試となる人には最適な実習期間で入学できます。ポートフォリオの作成や、面接試験対策など個別のカリキュラムを前提として細かなニーズに対応しています。運動系の部活動で週6日通えない人も、まずは1学期に総合受験部でスタートし、夏期講習会から本課程各料への転部を検討しましょう。

総合受験部 - クラス別日程 -				月	火	水	木	金	土	日
絵画科	日曜クラス	日	(9:30～16:30)							●
	平日クラス	木・金	(17:30～20:30)				●	●		
デザイン科	日曜クラス	日	(9:30～16:30)							●
	平日クラス	木・金	(17:30～20:30)				●	●		
建築科	日曜クラス	日	(9:30～16:30)							●
	土曜クラス	土	(14:00～20:30)						●	
先端芸術・映像科	日曜クラス	日	(9:30～16:30)							●
	平日クラス	火・水	(17:30～20:30)	●	●					

基礎科 BASIC SECTION

高校

夜間Aクラス 火・水・木・金 (17:30～20:30)

1・2年生 対象

夜間Bクラス 水・木・金 (17:30～20:30)

Cクラス 土 (14:00～20:30) Dクラス 日 (9:30～16:30)

中学生 対象

中学生3時間クラス

中学生6時間クラス

■ 基礎科 高校生 週一日から「始めやすく、通いやすい」高校生活と両立可能なクラス設定。

基礎科 - クラス別日程 -				月	火	水	木	金	土	日
● S受験クラス	(月・火・水・木・金・土) [17:30～20:30]			●	●	●	●	●	●	
● A強化クラス	(火・水・木・金) [17:30～20:30]		●	●	●	●				
● B総合クラス	(水・木・金) [17:30～20:30]			●	●	●				
● C土曜クラス	(土) [14:00～20:30]								●	
● D日曜クラス	(日) [9:30～16:30]									●
● E通信+クラス	月に1～2 課履の通信教育、+ 来られる日に講評・実技									

※S受験クラスについては、左ページ夜間部を参照してください。

■ 基礎科 中学生 週末を楽しく、都合の良い時間に絵を描こう。

● 中学生3時間クラス [土曜 a/b・日曜 d/e] 3時間

aクラス (土) [13:30～16:30] bクラス (土) [17:30～20:30]

dクラス (日) [9:30～12:30] eクラス (日) [13:30～16:30]

● 中学生6時間クラス [土曜 c・日曜 f] 6時間

cクラス (土) [13:30～20:30] fクラス (日) [9:30～16:30]

土		日	
		9:30	
		d	f
13:30	a	c	
16:30			
17:30	b	e	f
20:30			

年間スケジュール 2024

充実した一年で『夢』を実現しよう！



3 Mar **春期講習会**
●一日体験講習(無料)
●第一回特待生試験

4 Apr **1学期**
○入学式
■学科基礎力診断テスト
■個別面談 ●一日体験講習(無料)

5 May ●美術研修旅行(昼間部)
●一日体験講習(無料)

6 Jun ■第一回学科実力テスト
●一日体験講習(無料)

7 Jul ●一日体験講習(無料)

8 Aug **夏期講習会**
●芸大美大入試公開オリエンテーション
●第二回特待生試験

9 Sep ■第二回学科実力テスト

10 Oct **2学期**
●推薦入試直前講座
■私大学科模試 ●一日体験講習(無料)

11 Nov ●私立美術大学実技コンクール
■共通テスト模試
■個別面談 ●東京藝術大学公開実技コンクール
●一日体験講習(無料)

12 Dec **冬期講習会**
●一日体験講習(無料)

1 Jan **3学期**
●共通テスト用プレテスト

2 Feb **入試直前講座**
●一日体験講習(無料)

3 Mar ○卒業式
●一日体験講習(無料)
●美大入試説明会(無料)

ふな美の年間スケジュールは4月に始まり翌年3月で終了します。要所要所に公開行事と学内行事が催されることで、皆さんの多様な能力を育てていきます。

●春期講習会 3月下旬~4月初旬

これから実技の勉強を始めようとする人や、来春の受験に向けスタートをしようとする人を対象にした講習会です。初心者には用具の使い方から、経験者にはこれからの1年間の確かな第一歩を踏み出せるようきめ細かい指導をしていきます。



●美術研修旅行 5月

アトリエ内だけが制作の場ではありません。自然に触れて対話し、もう一度見直し制作することは非常に大切です。私たちは自然から最も多くのことを教えられているからです。



※諸状況により実施が難しい場合は後期まで美術館見学等への内容変更を検討します。

●夏期講習会 7月中旬~8月下旬

ふな美の夏期講習会は、全期で6週間にわたり、昼間・夜間の様々なコースを各自の志望や強化したい分野に合わせて選択・組み合わせることができます。各大学の入試内容に即した課題を取り組むことで実践的な力を養います。



●東京藝大公開実技コンクール 11月

東京藝術大学受験志望者を対象に、各科実技試験の最も重要な課題を想定して行います。学外生の参加も可能です。

●冬期講習会 12月中旬~1月初旬 ※12/30~1/3は休講

入試を目前にひかえ、熱気あるムードの中でさらなる自己の能力のステップアップを図ります。また、高校1・2年生を対象とした基礎コースでは、来年、再来年の入試を視野に入れながら基礎力養成を目指します。



●入試直前講座 1月初旬~3月中旬

遠隔地や高校の都合で通学できなかった人を対象に、入試日程にあわせた選単位の講座が設定されています。さらなる実技力向上を目指しましょう！



指導方針と強化システム

一人ひとりの個性を磨き、一人ひとりの夢を実現する！

[クラス別指導 + 個別指導]

10人いれば10の個性や感性があります。

ふなばし美術学院では「基礎力」に重点を置きながらも、個々の感性や知識を伸びやかに育てることを最大の目標にしています。平常授業では基礎力や応用力の養成を主な目的とした「クラス別指導」と個々の力を引き出すことを主眼とした「個別指導」を両輪として授業展開します。特に「個別指導」では、経験豊富な講師陣と面接などを通じてコミュニケーションを深め、志望校を視野に入れ、“表現する力”を育成していきます。こうしたきめ細やかな指導がふな美の合格実績を支えています。

もっと描きたい！ 学びたい！ に応える

ふな美は確かな実力をつけることです。

実技力をより伸ばしたい人には、通常授業に加え夜間実技強化講座(昼間部生対象)が用意されています。また、学力を伸ばしたい人には、夜間学科講座(昼間部生対象)や土曜学科講座(夜間部現役及び基礎科生対象)が設けられています。年6回に及ぶ学科テスト(基礎科は年3回)でチェックしながら、追加登録していくことも可能です。さらに視野を広げるための課外講座や合同コンクール等に参加することで、総合的な実力を強化することが可能です。

System 1 夜間実技強化講座 自由参加&無料。

- 夜間実技強化講座は年間を通して昼間部平常授業終了後、夜の3時間を実技授業にあて、ワンランク上を目指す、ふな美独自の学習システムです。単に与えられた課題に取り組むだけでなく、受験生が自主的に参加するこの講座が、各自の主体性を育て、高い合格率を生む大きな要因になっています。
- 担当講師の指導が入ります。(講師の指名で参加を促す場合もあります。)

System 2 夜間学科講座 登録制・昼間部生対象。

- 夜間学科講座は週2日行い、実技講座との併用が可能です。
- ※学科講座については、英語のAI教材導入により、教材費が発生します。

System 3 土曜学科講座 毎週土曜の現役生対象学科講座。

- 毎週土曜の午後、実技の前に希望者対象で学科授業を受けることができます。(夜間部生対象※登録制、※英語のAI教材導入により、教材費が発生します。)
- 午後の授業のみで実習レベルに不足がある人には、午前の学科をオプションとして追加受講も可能です。基礎科生も対象となります。
- 学科授業をレベル別に行うことで、わからないところから克服し、芸大美大合格をめざすことが可能になります。
- 年6回の学科テスト結果で確認しながら、選択実技と選択学科をスイッチ受講することが出来ます。

System 4 課外講座 視野が広がる学院外での授業。

- 受験対策に不可欠な「傾向と対策」ですが、それだけでは美術の世界に進む人間としての視野を狭め、結果として良い人材育成には結び付きません。
- 年数回の企画で、部科の枠を超えたコンクールや美術館・博物館、東京藝大見学ツアーなど様々なプログラムで視野を広げ、モチベーションをアップしていきます。

油画科 昼間部 [9:30~16:30]

描けるだけ描く!

東京藝術大学をはじめ、多くの美術大学で出題される

「～を自由に描きなさい」という言葉に対し、積極的に「絵」で応えていく人間を養成します。経験豊富な講師陣との対話の中で、自分自身の表現を見つけて行くことが成長に繋がります。また、静物、人物、構成等の状況設定をアクティブに組み合わせたカリキュラムで、限られた時間を密度の高いものにしていきます。

昼間部	月	火	水	木	金	土
実技 [9:30~16:30]	●	●	●	●	●	●
夜間強化講座 [17:30~20:30]	○	○	○	○	○	○
選択学科 [17:30~20:30]				○	○	

OIL PAINTING

★ 昼間部油画科のカリキュラム

経験の少ない人は対象をしっかりと描く基礎力の拡充から、受験経験者は前年度までの分析からがスタートです。同じ対象を描いても、個々に取り組むテーマは異なります。1枚1枚の絵に自分なりの到達感が持てることが大切です。試験対策課題だけでなく、より広い絵画表現を視野に入れた多彩なカリキュラムを行います。その環境を活かして、合格より一歩先にあるものを見据え、獲得していきましょう。学力に心配のある人は、なるべく1学期から夜間強化講座の内2日間の学科講座を受講しましょう。学科講座は登録制ですので、受ける期間は継続して参加することが大切です。学力向上後は実技に変更も可能です。※学科授業日は学科ページを参照。

★ 特別な授業と行事

■ **自分の興味について掘り下げる** 魅力的な絵画表現には、作者のまなざしが感じられます。それは、どんなことに興味をもって何を見ているかの現れです。他者から言われることではなく自分が自発的に思う事であり、感じていることを深めてゆくなかで自分の表現が芽生えます。自分の興味についてのワークシートや課題を制作していく中で本当に好きなことを自覚して楽しく制作しましょう。

■ **東京藝術大学 実技対策** 自分が作品を作る原動力となるものを自覚し、興味を深めていくような取り組みを行っています。自分の好きなことから発展していくような課題や通常の画材とは違う材料で制作する版画実習、学生による作品展示(展覧会)、美術史を意識するような課題、自分の作品をファイルにまとめる(ポートフォリオ)など年間を通して行っています。

■ **夜間学科講座(要追加学費)** 私大受験等で学科の心配がある人は夜間教科講座のうち2日間を夜間学科講座で英語を中心に学習することができます。夜間実技強化講座と併用して受講できるので、バランスよく総合力をつけることができるでしょう。新たに学科授業時間以外にも自宅学習や自習を効率よくサポートするため、個別の学力に対応する英語A1教材を導入いたします。

■ 実材実習 [多彩な技法を学ぶ]

主にコラグラフやペーパードライポイントなどの版画実習やレリーフや立体を制作することが、入試で課せられるデッサンや油彩課題とは一味違ったアプローチになり、基礎力向上や表現の展開につながります。

■ 屋外実習 [風景・取材]

絵を描き続けるには、画集や展覧会を見るなどのインプットが必要ですが、屋外での実習で風景を描いたり動物園に取材スケッチをしたりすることもその方法の一つです。アトリエでの制作とは違った様々な要素がたくさんありますので多くのことを学ぶチャンスです。

■ 夜間強化講座 [たくさん描いて上達する]

昼間部の授業終了後も描きたい人が描ける、ふな美ならではのシステムです。昼間部の課題だけでは物足りない人、基礎力アップしたい人、自分の表現を追求したい人、目的は様々で人それぞれですが、とにかくたくさん描けば上手くなります!

東京藝術大学 絵画科 油画専攻 合格 多摩美術大学 絵画学科 油画専攻 合格

寺西 理央 [千葉県立千葉高等学校 出身]

「私の「リアル」あなたの「リアル」
一般に、リアルな絵画といえは写真のような絵を思い浮かべる人が多いはず。普段、私達の目に映る現実がそっくり再現されているのだから、そう考えるのは自然なことでしょう。しかし、ふな美の経験を通して、実はそれだけじゃないんじゃないかと思うようになりました。私の好きな中世の東方正教会のイコン画は、厳密な規定により、聖人たちが天使たちは皆一様の表情を浮かべ縮いた姿で描かれ構図さえパターン化されています。いわゆる写実とは乖離していると言わざるを得ない感じです。しかし当時の人は様式化されたそれを聖なるものと心から信じ、その向こうにキリストや聖母を見た。彼らからすれば何よりもそれが「リアル」だったのだと思います。そんな風に「リアル」って案外フワフワしていて、人の数だけあるもののような気がします。どんなに何気ないことでも、あなたが心で感じたことはあなたの「リアル」に違はなく、そしてそれは他の何より大事なものののではないだろうか。



東京藝術大学 入試再現作品 一次素描表現



二次絵画表現



静物油彩「モチーフを描きなさい。」
【油絵の具・その他 / F20号キャンパス】



人物油彩「船橋に舞い降りたラストサマー」
【油絵の具・その他 / F20号キャンパス】



構成油彩「屏電をテーマに絵画表現しなさい。」
【油絵の具・その他 / F20号キャンパス】



静物デッサン「モチーフを描きなさい。」
【木炭・鉛筆 / 木炭紙】



静物+言葉課題デッサン「ハロウィンBOX」
【木炭・鉛筆 / 木炭紙】



静物コラージュ「モチーフを描きなさい。」
【油絵の具・その他 / F20号キャンパス】



人物油彩「この人を描きなさい」
【油絵の具・その他 / F20号キャンパス】



人物油彩「この人を描きなさい」
【油絵の具・その他 / F20号キャンパス】



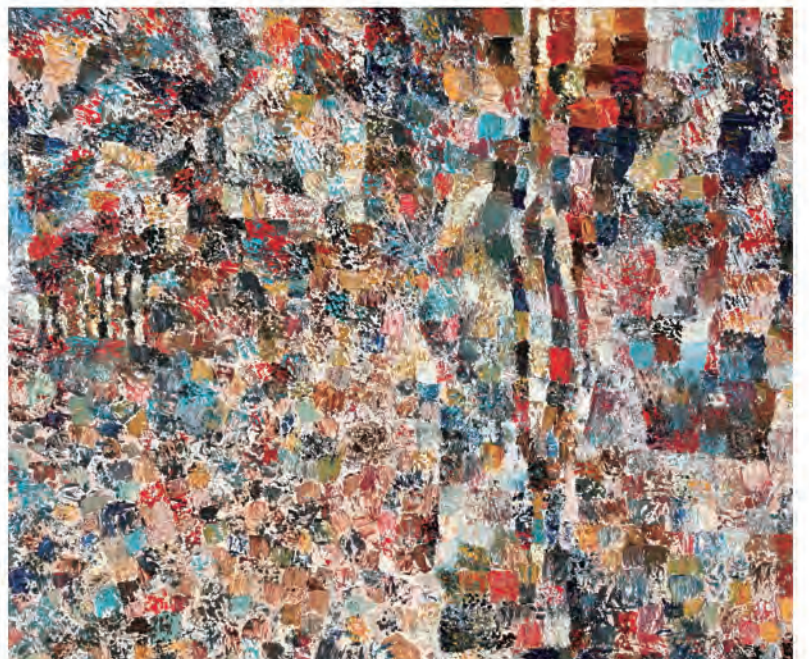
手裏しアッサン「モチーフを自由に扱い絵画表現しなさい。」
【木炭・鉛筆 / 木炭紙】



複成アッサン「別紙の言葉、文章から一つを選びそれを手がかりに描きなさい。」
【木炭・鉛筆 / 木炭紙】



静物複成油彩「生活をテーマに絵画表現しなさい。」
【油絵の具・その他 / F20号キャンパス】



複成油彩「〇〇の秋」
【油絵の具・その他 / F20号キャンパス】



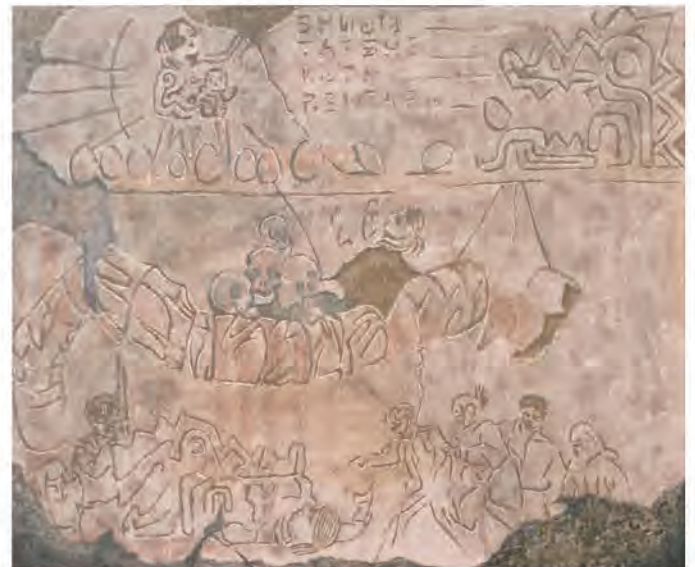
静物構成油彩「ハロウィンBOX」
 [油絵の具・その他 / F20号キャンバス]



静物デッサン「モチーフを描きなさい。」
 [木炭・鉛筆 / 木炭紙]



静物デッサン「モチーフを描きなさい。」
 [木炭・鉛筆 / 木炭紙]



構成油彩「昇竜をテーマに絵画表現しなさい。」
 [油絵の具・その他 / F20号キャンバス]



静物デッサン「モチーフを描きなさい。」
 [木炭・鉛筆 / 木炭紙]



静物油彩「ジェラシックふなびをもとに絵画表現しなさい。」
 [油絵の具・その他 / F20号キャンバス]

油画科 夜間部 [17:30~20:30]

自分を信じる事が出来る!

夜間部では、様々な課題を制作し、絵画表現において本当に大切なことを理解していくことから始まります。という言い方をすると難しく聞こえるかもしれませんが、大丈夫です。絵画の表現は多様多様ですから、ふな美の講師陣の指導のもとで自分の作品に自信を持って制作してください。東京藝術大学、多摩美術大学、武蔵野美術大学などの難関校に現役合格をめざしましょう。

夜間部	月	火	水	木	金	土
選択学科 [10:00~12:50]						○
[14:00~16:50]						○
実技 [17:30~20:30]	●	●	●	●	●	●

基礎科受験クラス	月	火	水	木	金	土
実技 [17:30~20:30]	●	●	●	●	●	●

OIL PAINTING

★ やってみよう!の気持ちがあれば大丈夫。

油絵には興味があるけれど、油絵の具はさわったことないし、3年生からじゃ無理かなあと諦めてしまう人もいますが、そんなに難しいことはありません。もちろん、経験の長い人と同じことが始めてすぐの人にもできるということではありませんが、その人の経験や個性によって、さまざまな使い方ができるのが油絵の具の特徴です。そもそも油絵の世界には決まった正解なんかありません。うまい人、色のきれいな人、発想が面白い人。いろいろな人がいて、いろんな絵があつていいんです。ですから「今さら遅いかな」という心配は無用です。「やってみよう」という気持ちがあれば大丈夫!



★ 夜間部油画科のカリキュラム 夜間部油画科では、課題を大きく3つに分けて考えています。

① 基礎力養成課題

受験生それぞれが持つ「個性」を大切にしつつ、それをしっかりと作品に活かせるようにするには基礎力が不可欠です。

② 表現力応用課題

しっかりと身に付けた基礎力を発揮して、自由に、そして自分の表現したいことを明確に伝えるチカラを養います。

③ 試験対策実践課題

豊かな表現力と基礎力を試験の場で発揮できるように、各大学の制作時間や出題傾向を分析した課題で実践力を鍛えます。

中でも特に重視しているのが ①基礎力養成課題です。将来アーティストとして羽ばたくみなさんにとって、うわべだけの試験対策ではなく、土台づくりとしての基礎力構築は、むしろ合格への近道です。

★ 特別な授業と行事

■ 個別面接 一人一人に丁寧に!

個別面接を随時行っています。志望校の選択や制作についてなど、一人一人に合わせて丁寧にアドバイスします。通学時間や高校との両立についてなど、学院生活全般の相談にも対応します。

■ 東京藝術大学 実技対策

変わりゆく社会状況の中で入試も様々に変化しています。どのような変化にも対応出来るように従来のデッサン、油彩の制作に加えてコラージュや版画制作、作品の根源を探る課題などを通して総合的な力を身につけていきます。

■ 土曜学科講座(要追加学費)

希望者は通常の週6日夜間実技授業に加え、毎週土曜の英語を中心とした学科授業を申し込むことができます。決して十分ではない学科授業時間をフォローするため、新たに学科授業時間以外にも自宅学習や自習を効率よくサポートするため、個別の学力に対応する英語AI教材を導入いたします。※学科の受講には、入学時の申込登録、および別途学科学費が必要となります。※学科授業日は学科ページを参照。

多摩美術大学 絵画学科 油画専攻 現役合格

秦 真心 [千葉県立船橋高等学校 出身]

私がふな美にやって来たのは、たしが二年次の五月頃で、人生初の木炭デッサンに夢中になったのを覚えています。基礎科ではデザイン科寄りの課題もあつたりして良い経験になりました。私は三年夏まで日曜クラスだったため、夏期講習で油画科に合流した時は周囲の上手さと個性の強さに不安を覚えたりもしましたが、とにかく周囲から溢るものは羨ましくもなるとか食らいつけていたのかなと思います。二年夏頃から精神を病んでしまい一時は高校卒業も無理かと思われ進学なんて夢のまた夢でしたが、絵が好きなお気持ちや両親のサポート、皆が全力で制作に取り組んでいたふなび油画科の環境と真摯に向き合ってくれた講師の先生方、そういったすべてのおかげでここまでやってこれました。ふな美でなければ諦めてしまっていたようにも思います。本当にお世話になりました。



多摩美術大学 入試再現作品 デッサン



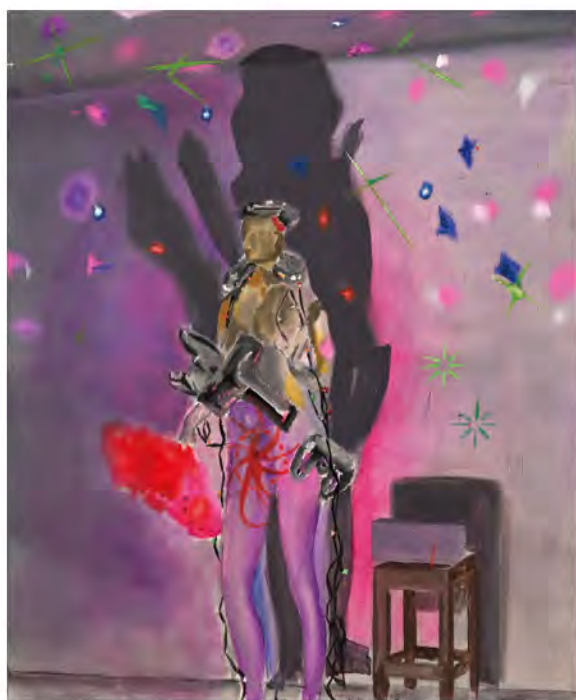
油絵



手渡し構成油彩「あなたはどう描きますか。」
【油絵の具・その他 / F20号キャンバス】



人物油彩「船囃に舞い降りたラストサマー」
【油絵の具・その他 / F20号キャンバス】



静物油彩「モチーフを描きなさい。」
【油絵の具・その他 / F20号キャンバス】



静物デッサン「ハロウィンBOX」
【木炭・鉛筆 / 木炭紙】



習業+手渡しデッサン「春・夏・秋・冬のうち一つを選び配布されたモチーフと組み合わせて描きなさい。」
【木炭・鉛筆 / 木炭紙】



手渡し構成油彩「あなたはどう描きますか。」
【油絵の具・その他 / F20号キャンバス】

日本画科 昼間部 [9:30~16:30]

観察 → 発見 → 実践 → 理解

ふなびの日本画ではモチーフに真摯に、

そして素直に向き合うことが良い作品づくりの基本と考えています。

その意識から丁寧な観察力が身につく、本質につながる発見があり、描くモチベーションが生まれます。

毎日の制作で、その充実感を覚え「入試に選ばれるものはどういうものか」を理解でき、

結果、魅力ある作品を描く力が身につきます。

昼間部	月	火	水	木	金	土
実技 [9:30~16:30]	●	●	●	●	●	●
夜間強化講座 [17:30~20:30]	○	○	○	○	○	○
選択学科 [17:30~20:30]				○	○	

JAPANESE PAINT

★ 全ては写実のために

写実の力を上げるのは技術です。日本画科では見たものをそっくりに描けるようになることを求められますが、モチーフをよく観察することや、参考作品を見るだけではなかなか上達はしません。観察の仕方や道具の使い方、絵の構成技術をしっかり指導するのが、ふなびの日本画です。学生一人一人の現状を見極めながら、各自に最も適した個別に近いカリキュラムや、問題を即解決するための面談やレクチャーを頻繁に行っています。

★ 基礎技術と個性を伸ばす

ふなびの日本画では、受験対応はもとより、学生の個性を見極めながら課題を決めています。試験本番に全員の実力が合格基準に達しているように、個別のカリキュラムを構成します。制作したすべての作品の写真を撮り、成長や弱点をいつでも確認できるように各自に制作ノートを作ってもらっています。また、講師も課題のプロセスをオンライン上で共有し、各生徒の情報を共有しています。少人数のメリットを生かして、ひとつひとつの課題に無駄が無いよう、手厚い指導を心がけています。



★ 目標を設定したカリキュラム

1学期は作品の完成度を上げるための技術的な要素を5項目(描写、構造、陰影、パース、構成)に分けて、それに沿った内容の課題を行っていきます。各課題目的がはっきりしているので、各自の弱点も見つけやすいです。夏期講習では、各大学に対応した課題を行い技術の底上げをします。

2学期は作品の充実度を上げるための課題と精神力の強化を図る課題を行います。冬期講習では制作時間の無駄を無くし、各自の完成度を上げるためのカリキュラムを組み、独自の効果的な指導メソッドで各学生に最適な指導を心がけています。試験直前期間は、各学生の体調や制作の状態を見ながら、志望校合格に向けて調整をしていきます。以上の様な1年間無駄の無いカリキュラム構成で確実に実力をつけていくことができます。

★ 課題ごとに行われるレクチャー

学期ごとの目標、週間目標、課題ごとの目標など全ての課題と過ごし方に意味を持たせるために、課題前のレクチャーが頻繁に行われます。普通の予備校は課題が終わったごとに講習会があると思いますが、ふなび日本画では、制作の前や途中にも出題意図や、注意するポイント、各大学の出題についての対応方法など、多角的な見方ができるように、わかりやすく指導しています。デッサンにおいては、習得技術を5項目に分類してきちんとクリアできるように、課題を決めていきます。そして、課題理解・技術習得ができていないかを確認するために、定期的に面談を行います。

■ 夜間学科講座(要追加学費) 私大受験等で学科の心配がある人は夜間教科講座のうち2日間を夜間学科講座で英語を中心に学習することができます。夜間実技強化講座と併用して受講できるので、バランスよく総合力を付けることができるでしょう。新たに学科授業時間以外にも自宅学習や自習を効率よくサポートするため、個別の学力に対応する英語AI教材を導入いたします。

武蔵野美術大学 日本画学科 合格 多摩美術大学 絵画学科 日本画専攻 合格

海下 元嗣 [千葉県立松戸高等学校 出身]

私立美大に受かりました。

一浪でふなびにやってきました。東京藝術大学に入りたかったので、長い間美大の対策を夜も残ってやっていました。初めは楽しく描けていましたが、少しずつマンネリ化してきました。そこへ私立の美大受験も挑戦してみようか、と講師から勧められました。私立の美大も面白そうということで、私立の対策もするようになりました。私立の対策にはまっちゃいました。すごく楽しくなっちゃって、漫人生ということを忘れていました。講師が注意してくれて漫人生へ戻してくれます。そして次々に美大の対策もするとこれも楽しかったです。美大対策の楽しみ方を講師が思い出させてくれました。私大に受かったら美大、美大に受かったら私大という管理になります。生徒一人一人のモチベーションを上げるのが一番上手な予備校だと思います。



武蔵野美術大学 入試再現作品 鉛筆素描



人物着彩



静物描彩 [鉛筆・水彩絵具 / P20白象紙]



静物描彩 [鉛筆・水彩絵具 / P20白象紙]



静物デッサン【鉛筆 / 木炭紙大白象紙】



石膏デッサン【鉛筆 / 木炭紙大白象紙】



人物デッサン【鉛筆 / P20白象紙】



自画像轉成着色 [鉛筆·水彩繪具 / P20白象紙]



人物着色 [鉛筆·水彩繪具 / P20白象紙]



自画像轉成着色 [鉛筆·水彩繪具 / 木炭紙大白象紙]

日本画科 夜間部 [17:30~20:30]

見る・感じ取る・表現する

夜間部日本画科では、見ているものをありのままに素直に表現することで、感覚や技術を高めていきます。

入試では観察や表現に丁寧さを感じさせることが大切で、そのためには画材の深い知識も必要です。

身につけた基礎力が、魅力ある作品作りを可能にし、合格への道を開きます。

夜間部	月	火	水	木	金	土
選択学科 [10:00~12:50]						○
[14:00~16:50]						○
実技 [17:30~20:30]	●	●	●	●	●	●

基礎科受験クラス	月	火	水	木	金	土
実技 [17:30~20:30]	●	●	●	●	●	●

JAPANESE PAINT

★ 基礎から徹底的に指導

道具の使い方から正確な形のとり方、構図、質感、立体感、空間感等、デッサンに必要な要素と表現力を養います。着彩課題では、日本画用の筆、絵の具、パレット等の準備を丁寧にアドバイスします。一見見た目が同じような筆でも水や絵の具の含みに違いがあり、最終的には描く時間の差にも繋がっていきます。



★ 毎日通えない場合も柔軟に対応

高校2年生で日本画受験を決めている人や、推薦受験を考えている人、高校の部活動等で毎日通えない場合も個々の状況に合わせて柔軟にサポートします。参考作品・図書資料・映像資料も充実しているので、自宅学習での通信にも対応できます。まずは学院までお問い合わせください。

★ 土曜学科講座(要追加学費)

希望者は通常の週6日夜間実技授業に加え、毎週土曜の英語を中心とした学科授業を申し込むことができます。決して十分ではない学科授業時間をフォローするため、新たに学科授業時間以外にも自宅学習や自習を効率よくサポートするため、個別の学力に対応する英語AI教材を導入いたします。※学科の受講には、入学時の申込登録、および別途学科学費が必要となります。※学科授業日は学科ページを参照。

★ 授業の目的に沿ったレクチャー

基本的な技術を習得するにあたって、効率よく実力をつけるためのレクチャーを行います。単によく見て描くなどの観念的な授業ではなく、実際に求められている完成度や、表現するための技術を細分化して、理解をしていくためのレクチャーとなります。受験の課題には出題者の意図や、問いかけが必ず含まれています。それらをどう解釈し、自分の表現とつなげていくにはどうしたら良いかを指導していくレクチャーを行います。

★ 一人一人の制作を個別にサポート

少人数制での環境を活かして、一人ひとりの志望校にあったカリキュラムで現役合格を目指します。毎課題の制作過程を時間ごとに写真撮影。すべての講師が常にその情報を共有する事で、学生の成長を完全にサポートしていきます。

武蔵野美術大学 造形学部 日本画学科 現役合格

佐藤 浩 [千葉県立幕張総合高等学校 出身]

悔いのないように!!

私は高校ですべて部活中心の生活を送っていました。なので、部活が終わるまでは予備校には通わずに、たまに体験講習に参加したりしていました。ふな美に本格的に通い始めたのは高三の九月からです。夏期講習にも参加せず少し遅めのスタートとなりましたが、ふな美の人は温かく迎え入れてくれました。これを購んでいる人の中で受験を優先させてやりたいことを諦めようとしている人もいるかもしれませんが、私も部活の最後のコンクールに出るか迷いました……でも、自分はやりたいことは全部やった方がいいと思いました! 受験以外の経験も自分を成長させる糧になるし、その成長は受験を乗り越える力にもなります。ふな美の先生方はそんな自分の意志を受け入れてくれました! 本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました!



武蔵野美術大学 入試再現作品 鉛筆素描

人物写形



武蔵野美術大学 入試再現作品 人物着彩 [水彩絵具 / A2画用紙]



細密着彩 [鉛筆・水彩絵具 / B3白象紙]



細密着彩 [鉛筆・水彩絵具 / B3白象紙]



石膏彫物デッサン [鉛筆 / 木炭紙大白象紙]



自画像構成着彩 [鉛筆・水彩絵具 / P20白象紙]

デザイン・工芸科 昼間部 [9:30~16:30]

藝大デザインクラス

昼間部	月	火	水	木	金	土
実技 [9:30~16:30]	●	●	●	●	●	●
夜間強化講座 [17:30~20:30]	○	○	○	○	○	○
選択学科 [17:30~20:30]				○	○	

新しい価値を創造する豊かな感性と知性を磨く。

デザインの分野では、多様化する価値観の中で幅広い視野と柔軟な発想力が求められています。

何気なく見過ごしている物事にも興味を持ち、既成の概念や作られた言葉ではなく

新しい価値を創造できるように自分の感性と知性に磨きをかけて夢を実現させましょう。

DESIGN & CRAFT

★ 合格へのカリキュラム

藝大デザイン科の入試ではデッサン・色彩・立体構成の3課題が出題されます。基礎的な事項を総合的に学びながら、それぞれの課題に対して的確な答えを出せるように実践力を鍛えて入試へ万全な体制を整えて行きます。一次試験のデッサンは構成デッサンと石膏デッサンの選択制なので、実技を通して適した選択をできるように指導します。

■ 表現の『基』をしっかりと学ぶ

○デッサン…的確にモチーフを把握して表現するための描写力と観察から得たモチーフの特性を活かした構成力を養っていきます。

○色彩構成…基礎的な色彩の知識をしっかりと学びながら、自分の発想・発見を的確に伝えるための描写力・構成力・表現力を身につけます。

○立体構成…立体・空間構成の基礎的な知識を学び、素材の理解・道具の扱い方を含めて造形の基礎をしっかりと身に付けていきます。

■ 合格をつかむ『突破力』強化

入試の壁を突き破るためには、冷静に実力を見極めることがとても重要です。個々の実力を的確に分析しながら長所に磨きをかけ、弱点を徹底的に補強します。入試対策課題に取り組みながら具体的な指導で対応力を養って行きます。課題へ明解に応えるために必要な実践的テクニックを習得して、効率的なプロセスを構築しながら合格をつかむための『突破力』を強化していきます。

★ 2つの特訓カリキュラム「夜スベ」と「夜間学科」

夜間強化講座 デッサン力は全ての造形表現の「基」であり、合格に直結する重要な要素でもあります。夜間強化講座(夜スベ)ではデッサン課題を中心とした課題で徹底的にデッサン力を鍛えます。

夜間学科講座(要追加学費) 学力を必要とするデザイン・工芸科では、夜間教科講座のうち2日間を夜間学科講座で英語を中心に学習することができます。夜間実技強化講座と併用して受講できるので、バランスよく総合力をつけることができるでしょう。新たに学科授業時間以外にも自宅学習や自習を効率よくサポートするため、個別の学力に対応する英語AI教材を導入します。 ※学科の受講には、入学時の申込登録、および別途学科学費が必要となります。 ※学科授業日は学科ページを参照。

★ 観察力・発見力・表現力

『的確にものを捉える眼を養い、捉えたものから様々な発見をして、発見したことを表現する。』テクニックだけを身につけても本当の力にはなりません。様々な物、事から発想するための発見ができるような柔軟で豊かな感性を養うことがデザインの根底で求められています。多彩な課題や講師とのディスカッションを通して、観察力・発見力・表現力をしっかりと磨いて本物の『デザイン力』を身につけましょう。

東京藝術大学 デザイン科 合格 武蔵野美術大学 造形学部 工芸工業デザイン学科 合格

齊藤 すず [千葉県立佐倉高等学校 出身]

私がふな美に入学したのは、高校二年生の基礎科夏期講習の時でした。美大や入試の特色さえよく知らないまま来た私に、基礎科の先生方は美大受験の基本の基本から丁寧かつ優しく、そしてとても楽しく教えて下さいました。デザイン・工芸科に進んでからの二年間はとても語りきれないほど濃いものでした。現役時に第一希望である藝大に落ちてしまった時は、浪人するか私大に行くか本当に悩みましたが、両親、ふな美の先生方、そしてふな美の大切な友達に支えられ、浪人生活乗り越えることができました。ふな美の講師陣はあなたに「美大に行きたい、美術をやりたい」という気持ちさえあれば、全力でそのサポートをして下さいます。伸び悩んだり辛いときも、決して見捨てず寄り添ってくれるような先生方です。そして同じ志をもった仲間が集うこの空間で過ごす日々は、きっとかけがえのないものになります。ふな美、ありがとう!



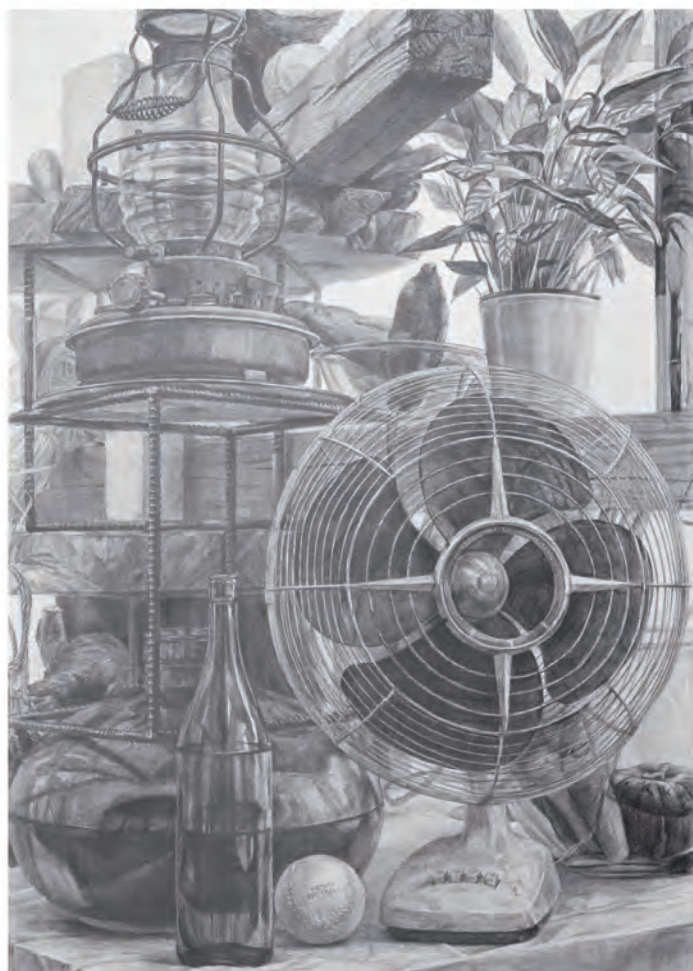
東京藝術大学 デザイン科 入試再現作品 色彩構成



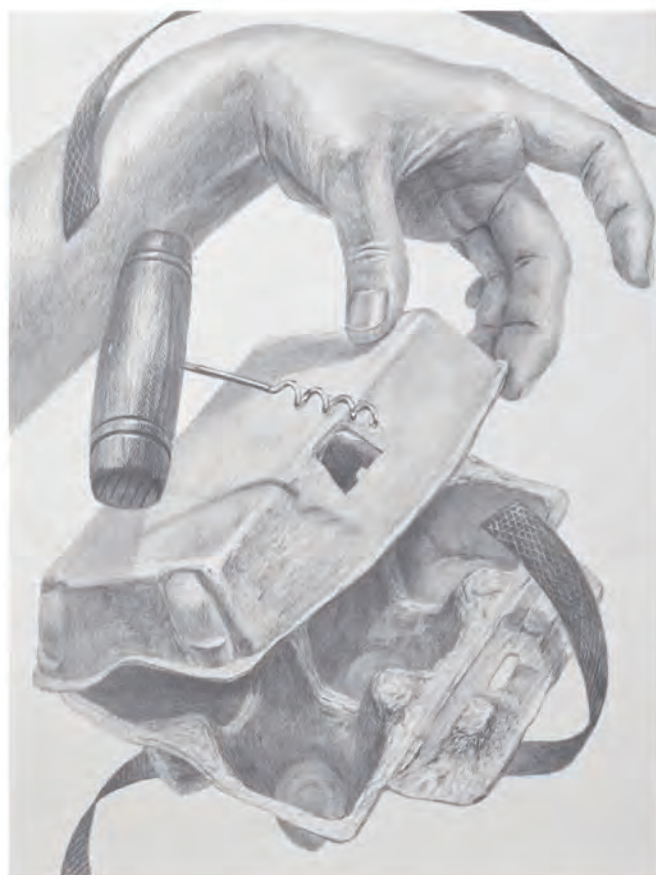
鉛筆写生 構成デッサン選択



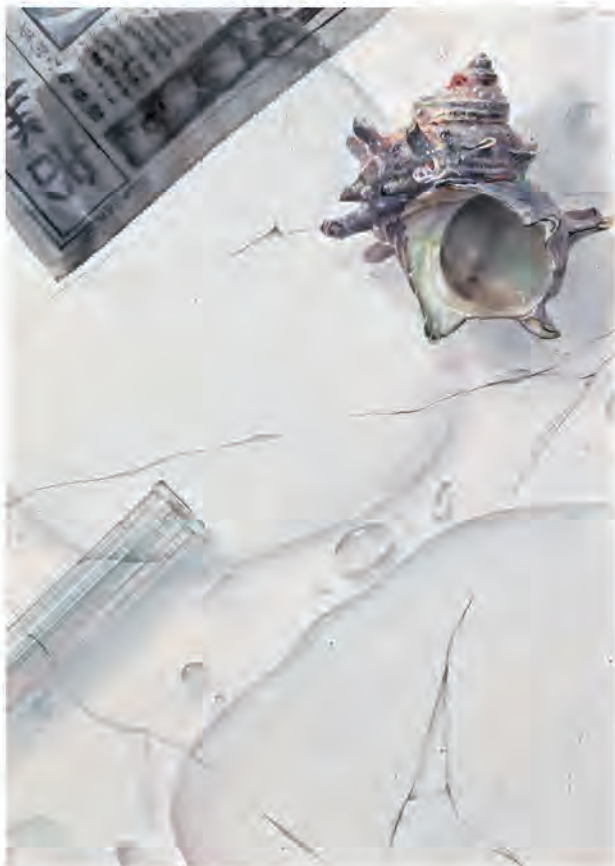
石膏デッサン [鉛筆 / 芸大サイズ画用紙]



静物デッサン [鉛筆 / B全サイズ画用紙]

構成デッサン [鉛筆 / 芸大サイズ画用紙]
各自の手と与えられたモチーフ(卵パック・ワインオープナー・PPバンド)を組み合わせて構成デッサンしなさい。

石膏+α デッサン [鉛筆 / 芸大サイズ画用紙]



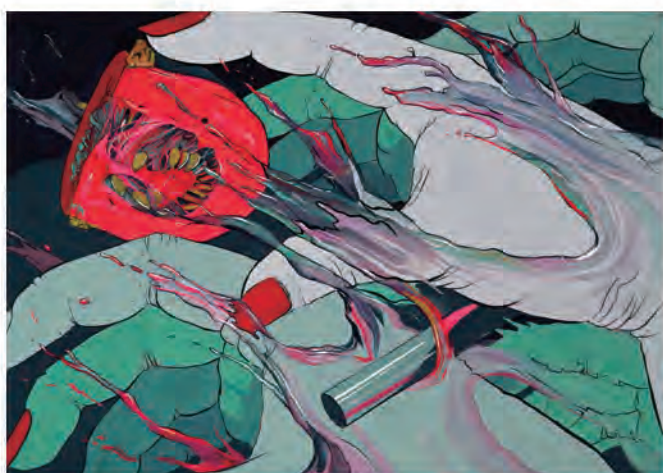
色彩構成 [B3サイズ]
与えられたモチーフ(サザエ)と○△□を構成要素として色彩構成しなさい。



色彩構成 [B3サイズ]
与えられたモチーフ(おもちゃカボチャ・段ボール・アルミホイール)を各自で設定したオノマトペのイメージで色彩構成しなさい。



色彩構成 [B3サイズ]
与えられたモチーフ(桜葉鳥花・完眞・ニンニク・壘型定銀)を組み合わせて色彩構成しなさい。



色彩構成 [B3サイズ]
与えられたモチーフ(カボチャ・アクリル輪)から発想されるイメージと手、規定の水を組み合わせて色彩構成しなさい。



色彩構成 [B3サイズ]
0~9の数字を画面構成の主たる要素として、与えられたモチーフ(ザクロ・毛糸玉・白黒タイル)を組み合わせて色彩構成しなさい。



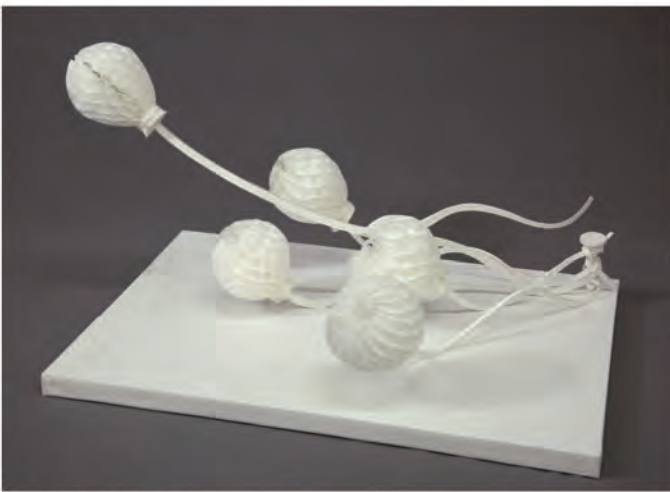
色彩構成 [B3サイズ]
与えられたモチーフ(菊・グレープフルーツ・バターナイフ)を組み合わせて色彩構成しなさい。



立体構成【ケント紙】
「競争」のイメージを立体構成しなさい。



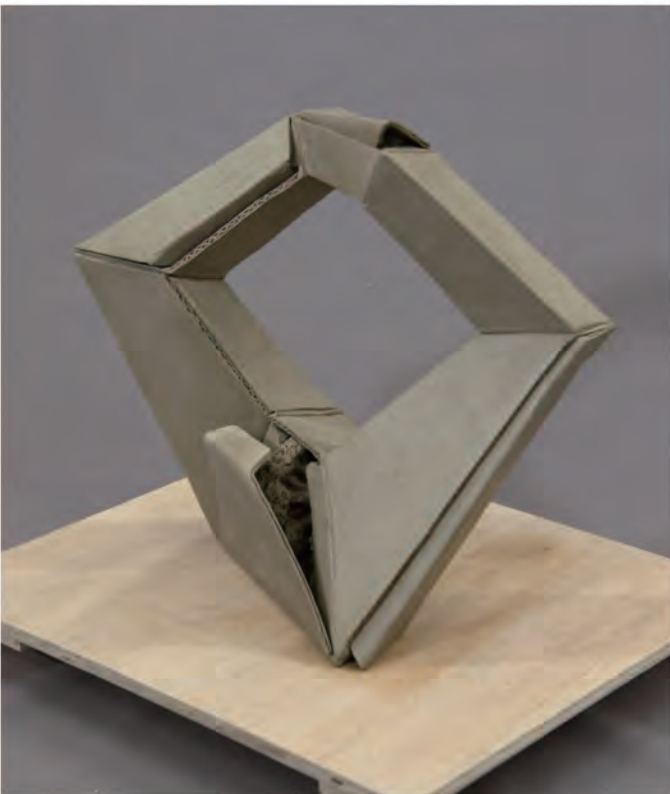
立体構成【水粘土】
水の彫刻のイメージで立体構成しなさい。



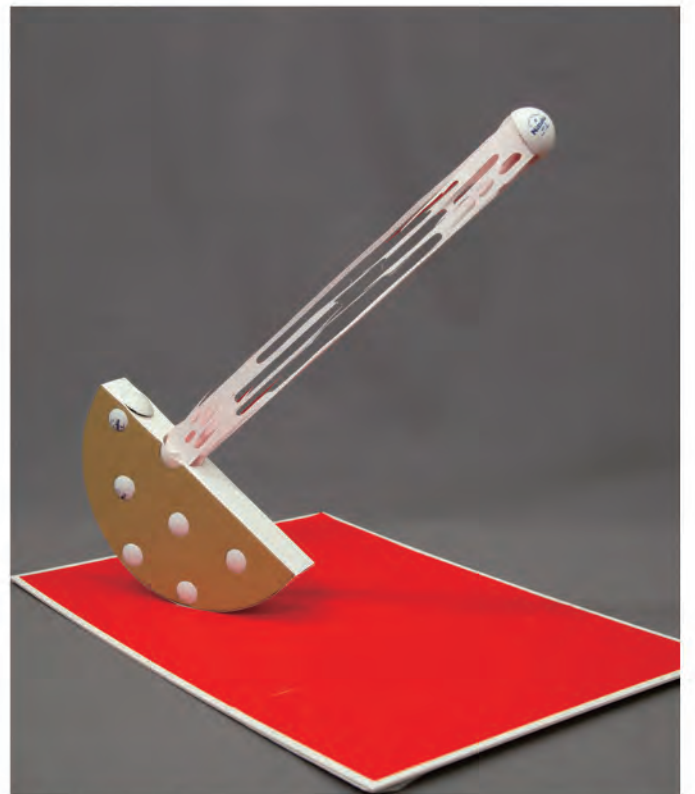
立体構成【ケント紙】
「Air」をテーマとして、与えられた素材(ハニカムペーパー)の特性を活かして自由な発想で立体構成しなさい。



立体構成【水粘土】
怪獣のイメージで立体構成しなさい。



立体構成【水粘土】
与えられたモチーフ(化粧箱)から要素を抽出して立体構成しなさい。



立体構成【ケント紙、他】
無音画又は無意識のイメージを指定された素材(ピンポン球・折り紙・ダンボール板・ケント紙)を用いて立体構成しなさい。

デザイン・工芸科 昼間部 [9:30~16:30]

藝大工芸クラス

昼間部	月	火	水	木	金	土
実技 [9:30~16:30]	●	●	●	●	●	●
実用化学講座 [17:30~20:30]	○	○	○	○	○	○
選択学科 [17:30~20:30]				○	○	

新しい『かたち』を創り出す、豊かな感性と知性を磨く。

一言で工芸と言っても様々な分野があります。伝統工芸から最先端の技術を使った作品まで多岐に渡った世界が広がっています。何気なく見過ごしている物事にも興味を持ち、既成の概念で作られた形ではなく新しい『かたち』を創造できるように感性と知性そして『技』に磨きをかけて夢を実現させましょう。

DESIGN & CRAFT

★ 合格へのカリキュラム

東京藝術大学工芸科の入試ではデッサン・平面表現・立体表現の3課題が出題されます。基礎的な共通項を総合的に学びながら、それぞれの課題に的確に応えるための実践力を鍛えて入試へ万全の体制を整えていきます。多摩美術大学工芸科の静物デッサン対策にもしっかりと対応します。

■ 造形の『基』をしっかりと学ぶ

- デッサン・・・正確にモチーフを把握して表現するための描写力を養います。モチーフの質感や構造をしっかりと捉えて描写表現できるように様々な課題に取り組んでいきます。
- 平面表現・・・基礎的な色彩の知識をしっかりと学びながら、自分の発想・発見を的確に伝えるための描写力・構成力・表現力を身につけます。
- 立体表現・・・模刻力をしっかりと身につけながら、立体・空間構成の基礎的な知識を学びます。素材の理解・道具の扱いを含めて造形の基礎をしっかりと身につけます。

■ 合格をつかむ『突破力』強化

入試の壁を突き破るためには、冷静に実力を見極める事がとても重要です。個々の実力を的確に見極めながら長所に磨きをかけ、弱点を徹底的に補強します。入試対策課題に取り組みながら具体的な指導で対応力を養って行きます。入試に必要な実践的な技術を習得して効率的なプロセスを構築しながら合格をつかむための『突破力』を強化していきます。

■ ふな美の『工芸魂』

『何事にも臆せず常に挑戦する。』これがふな美の『工芸魂』です。入試対策のみに捕われず石膏塑造・動物着彩・様々な素材での立体表現など多彩な課題にも積極的に取り組んで自分の可能性を広げていきます。

★ 観察力・発見力・表現力

ものづくりの原点は観察です。観察して発見・発想したことから『かたち』をつくり出します。『的確にものを捉える眼を養い、捉えたものから様々な発見をして、発見したことを『かたち』にする。』技術だけを身につけても本当の力にはなりません。工芸科では、新しい『かたち』をつくり出せる柔軟で豊かな感性を養うことが求められています。多彩な課題や講師とのディスカッションを通して『かたち作り』の基盤となる『3つの力』を『ふなびの工芸魂』で鍛え上げていきましょう。

★ 2つの特訓カリキュラム『夜スペ』と『夜間学科』

夜間強化講座 デッサン力は全ての造形表現の『基』であり、合格に直結する重要な要素でもあります。夜間強化講座(夜スペ)ではデッサン課題を中心とした課題で徹底的にデッサン力を鍛えます。

夜間学科講座(要追加学費) 学力を必要とするデザイン・工芸科では、夜間教科講座のうち2日間を夜間学科講座で英語を中心に学習することができます。夜間実技強化講座と併用して受講できるので、バランスよく総合力をつけることができます。新たに学科授業時間以外にも自宅学習や自習を効率よくサポートするため、個別の学力に対応する英語AI教材を導入します。
※学科の受講には、入学時の申込登録、および別途学科学費が必要となります。
※学科授業日は学科ページを参照





石膏デッサン【鉛筆 / 木炭紙大白象紙】



立体表現【水粘土】
与えられたモチーフ(フェイスタオル)と任意の多面体を
一辺5cmの立方体と組合せて立体表現しなさい。



平面表現【B3サイズ】
任意の画面枠をつくり、与えられたモチーフ(石・紙テープ)を構成し平面表現しなさい。



平面表現【B3サイズ】
与えられたモチーフ(ガーベラ)を
任意のオノマトへのイメージと文字を組み合わせる平面表現しなさい。



立体表現【水粘土】
与えられたモチーフ(熊掌)と任意の形体を組み合わせる立体表現しなさい。



石膏デッサン【鉛筆 / 木炭紙大白象紙】

デザイン・工芸科 昼間部 [9:30~16:30]

私立美大平面・立体系クラス

昼間部	月	火	水	木	金	土
実技 [9:30~16:30]	●	●	●	●	●	●
夜間強化講座 [17:30~20:30]	○	○	○	○	○	○
選択学科 [17:30~20:30]				○	○	

豊かな感性と知性で夢を実現させよう！

デザインの分野では、多様化する価値観の中で多角的な視野と柔軟な発想力が求められています。

入試課題のみの対策に捕われてしまうと真の実力が身につけません。

様々なことに興味を持ち既成の概念や作られた言葉ではなく、

新しい価値を創造できるように感性と知性に磨きをかけて夢を実現させましょう。

DESIGN & CRAFT

★ 合格へのカリキュラム

私立美大の多様化した入試を突破するためには、自分の発想やイメージを明解に伝えるための「伝達力」を磨くことが大切です。正確な観察力と豊かな発想力を養いながら、発想を作品にしていくための技術力と構成力を身につけて伝達する力を養います。

■ 表現の「基」をしっかりと学ぶ

● デッサン・・・正確にモチーフを把握して表現するための描写力を養います。モチーフの質感や構造をしっかりと描写表現できるように多彩なモチーフ・課題に取り組みます。

● 色彩構成・・・基礎的な色彩の知識をしっかりと学びながら、自分の発想・発見を的確に伝えるための描写力・構成力・表現力を身につけます。

● 立体構成・・・立体・空間構成の基礎的な知識を学び、素材の理解・道具の扱い方を含めて造形の基礎をしっかりと身につけていきます。

■ 合格をつかむ「突破力」強化

入試の壁を突き破るためには、冷静に実力を見極めることがとても重要です。私立美大入試にはそれぞれ異なる特徴があります。個々の志望専攻に即した対策課題に取り組みながら具体的な指導で入試への対応力を養っていきます。実践的なテクニックを身につけ、効率的なプロセスを構築しながら合格をつかむための「突破力」を強化していきます。

★ 観察力・発見力・伝達力

■ 発想力に磨きをかける！

私立美術大学では課題のテーマやモチーフに素直に反応して、イメージ・形・色を「発想する力」が求められています。そのためには、日頃から様々な事に興味をもつ事が大切です。机の上で考えるだけでは発想は広がりません！五感を働かせ「見て・聞いて・触って」経験し考える事が発想の源になります。柔軟で豊かな感性を養う事がデザインの根底で求められていて、様々な課題や講師とのディスカッションを通して発想力を磨き、将来の基盤となる力を培っていきます。

■ 「発想」を「かたち」にするための「デッサン力と構成力」を養う。

デッサン課題では鉛筆での描写力を身につけながら「的確にものを捉える観察力」を養い、構成課題では色彩の基礎的な事柄を学び「発見した事を伝えるための構成力」を養います。課題に対して的確に答えられるようにテクニックを学んで表現力を豊かにし、隙のない勉強をしていきます。

★ 2つの特訓カリキュラム「夜スペ」と「夜間学科」

夜間強化講座 デッサン力は全ての造形表現の「基」であり、合格に直結する重要な要素でもあります。夜間強化講座(夜スペ)ではデッサン課題を中心とした課題で徹底的にデッサン力を鍛えます。

夜間学科講座(要追加学費) 学力を必要とするデザイン・工芸科では、夜間教科講座のうち2日間を夜間学科講座で英語を中心に学習することができます。夜間実技強化講座と併用して受講できるので、バランスよく総合力をつけることができるでしょう。新たに学科授業時間以外にも自宅学習や自習を効率よくサポートするため、個別の学力に対応する英語AI教材を導入します。 ※学科の受講には、入学時の申込登録、および別途学科学費が必要となります。 ※学科授業日は学科ページを参照。

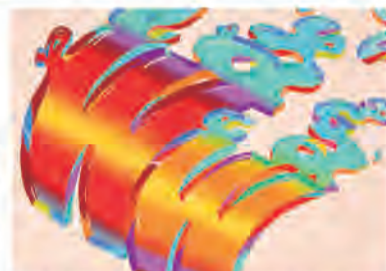
武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科 合格

同 基礎デザイン学科 同 デザイン情報学科 合格

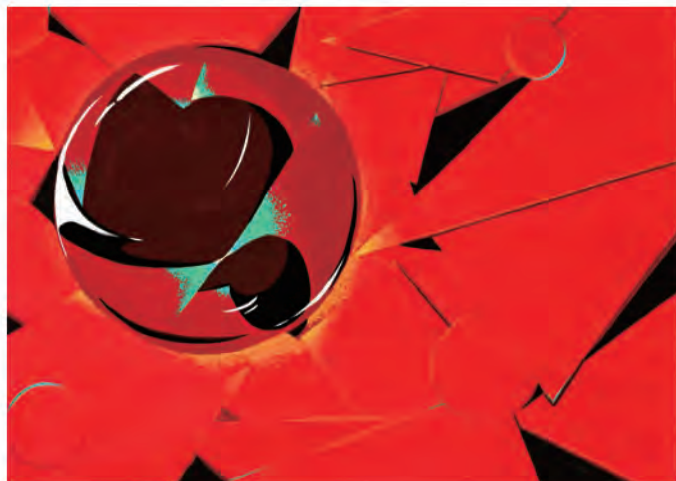
大根田 悠乃 [千葉県立専修総合高等学校 出身]

ふな美が教えてくれた大切なもの

私は、高校二年生の夏頃にふな美に会い始めました。初めはすべてノリと勢いだけで何とかしていた私でも、制作を重ねることに理由などを覚えて色々な事を考えられるようになりました。多分私は人より楽観的で落ち込みたり窮んだりする事がほぼなかったし、何でもそこそこで満足してしまう人間なので、色々悩んだりしている人を見ると自分は本気でやれてなくてただ遊んでるだけなんじゃないかと思っていたのですが、それでも作品を作り始めると少しでもいいものにしようと手が勝手に動いていて、やっぱり私は美術が好きなんだなと思いました。それに気づかせてくれたのは、いつも一生懸命なふな美の姿や、本気で向き合って指導して下さいました。これに思っています。本気になれるものを教えてくれてありがとうございました。でも学科は最後までノリと勢いだけでどうにかしていました。これを読んでいるそのあなた！今すぐ単語帳を開いたほうが身のためですよ！ふなびLOVE!



武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科 入試再現作品 デザイン



色彩構成 [B3サイズ]
 ○△□とアクリル球をモチーフに「調和」をテーマとして色彩構成しなさい。



静物デッサン [鉛筆 / B3西用紙]



静物デッサン [鉛筆 / 木炭紙大面用紙]



色彩構成 [B3サイズ]
 「境界突破」のイメージを「Beyond」の文字を記して色彩構成しなさい。



色彩構成 [B3サイズ]
 「循環」をテーマとして「Cycle」の文字と組合せて色彩構成しなさい。



色彩構成 [B3サイズ]
 單手と手の形を構成要素として「触覚」のイメージを色彩構成しなさい。



色彩構成【B3サイズ】
円、円弧、直線、線分を組み合わせて花鳥風月のイメージで色彩構成しなさい。



構成デッサン【鉛筆 / B3画用紙】
与えられたモチーフ(PPバンド)を両手と組み合わせて構成デッサンしなさい。



静物デッサン【鉛筆 / 特大サイズ画用紙】



色彩構成【B3サイズ】
画面を3分割し、与えられたモチーフ(パブリカ、アクリル棒)を用いて自由に色彩構成しなさい。



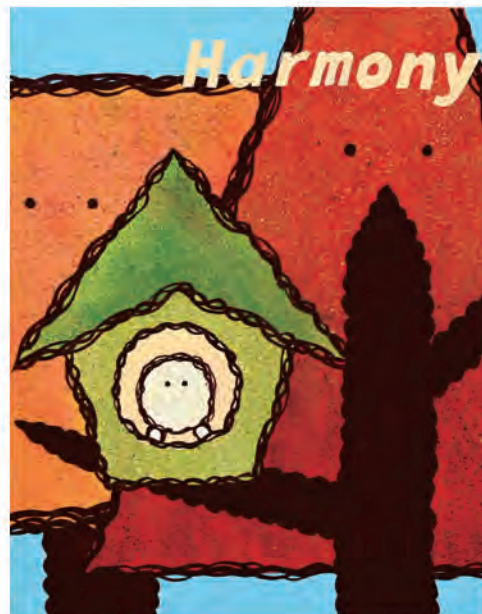
色彩構成【B3サイズ】
与えられたモチーフ(紙コップ・プラコップ・ストライプコップ)と手を組み合わせて人の動きのイメージで色彩構成しなさい。



色彩構成 [B3サイズ]
月刊誌「YASAI」の表紙をパプリカをモチーフとして描きなさい。



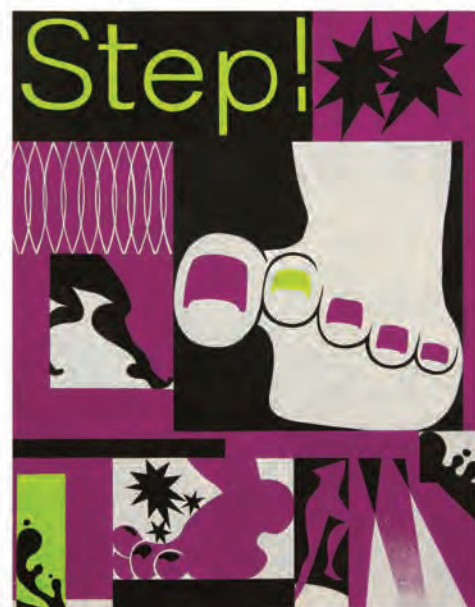
色彩構成 [B3サイズ]
味覚のイメージで色彩構成しなさい。



色彩構成 [B3サイズ]
調和のイメージを○△□を構成要素として「Harmony」の文字を配して色彩構成しなさい。



色彩構成 [B3サイズ]
「変」から連想されるイメージを「STRANGE」の文字とトラローブをモチーフとして色彩構成しなさい。



色彩構成 [B3サイズ]
足をモチーフとして「Step!」の文字を配して踊りをテーマに色彩構成しなさい。



構成デッサン [鉛筆 / B3画用紙]
与えられたモチーフ(目玉クリップ・透明シート・ケント紙帯)を組み合わせて構成デッサンしなさい。



構成デッサン [鉛筆 / B3画用紙]
与えられたモチーフ(杉板・ステンレスピンチ)を器造物のイメージで構成デッサンしなさい。



構成デッサン [鉛筆 / B3画用紙]
「つかみ取る両手」を構成デッサンしなさい。

デザイン・工芸科 夜間部 [17:30~20:30]

藝大・私大総合クラス

個性を活かして自由な発想で可能性を開拓しよう!

デザインの分野では多様化する価値観の中で多角的な視野と柔軟な発想力が求められています。自分の可能性を広げて目標を見極めながら、何気なく見過ごしている物事にも興味を持ち、既成の概念や作られた言葉ではなく新しい価値を創造できるように自分の感性と知性に磨きをかけて夢を実現させましょう。

夜間部	月	火	水	木	金	土
選択学科 [10:00~12:50]						○
[14:00~16:50]						○
実技 [17:30~20:30]	●	●	●	●	●	●

基礎科受験クラス	月	火	水	木	金	土
実技 [17:30~20:30]	●	●	●	●	●	●

DESIGN & CRAFT

◎ 現役合格へのカリキュラム

★「基礎力」と「発想力」を育て自分の可能性を広げていきます。[春から夏は基礎力の育成]

デザイン工芸科の入試では様々な課題が出題されます。入試対策ばかりに捉われてしまうと真の力が身につけません。様々な課題を通して造形表現の「基」をしっかりと学び自分の可能性を広げましょう。

■ 造形の「基」をしっかりと学ぶ

- デッサン・・・ものを観る力・描く力を養います。
- 色彩構成・・・発想・発見を的確に伝えるための「色彩感覚」「構成力」「表現力」を養います。
- 立体構成・・・素材の理解・道具の扱い方を含めて、「模刻力」「造形力」「表現力」を養います。

★ 現役合格するための柔軟なカリキュラムで「突破力」を身につけます。[夏期講習から秋は「突破力」]

入試を攻略するには、客観的に実力を見極める事が重要です。夏期講習以降は的確な実力分析と具体的な指導で、長所に磨きをかけ弱点を補強して課題への対応力を養います。実践的なテクニックを身につけて効率的なプロセスを構築しながら合格をつかむための「突破力」を強化していきます。

★ 実力・志望校に合わせて、選択課題で効率的に「合格力」を養います。[冬期講習から入試直前講座]

実力や志望校は個々によって異なります。様々な入試課題に選択課題で対応しながら、実践的な力を養い合格を目指します。

■ 観察力・発見力・伝達力

「的確にものを捉える眼を養い、捉えたものから様々な発想をして、発想したことを伝達する。」テクニックだけを身につけても本当の力にはなりません。様々な物、事から発想するための「発見」ができるような柔軟で豊かな感性を養うことがデザインの根底で求められています。様々な課題や講師とのディスカッションを通して、観察力・発見力・伝達力を養っていきましょう。

■ 春・夏・秋・冬の面談

その都度、個別面談をおこなって個々の状況を把握しながら志望校や課題についての疑問に答えていきます。

■ 土曜学科講座 (要追加学費)

希望者は通常の週6日夜間実技授業に加え、毎週土曜の英語を中心とした学科授業を申し込むことができます。決して十分ではない学科授業時間をフォローするため、新たに学科授業時間以外にも自宅学習や自習を効率よくサポートするため、個別の学力に対応する英語AI教材を導入いたします。※学科の受講には、入学時の申込登録、および別途学科学費が必要となります。※学科授業日は学科ページを参照。

■ 昼間部と指導連携

ある程度実力の付いた段階で、昼間部夜間実技強化講座と課題をリンクさせたり、高校が休みの日に昼間部と合同コンクールを行います。夜間部の新鮮な「発想」と昼間部の「技術力・対応力」を相互に影響させながら高いレベルの中で入試の実験課題に取り組んでいくことで、総合的なレベルUPを目指します。

多摩美術大学 グラフィックデザイン学科 現役合格

武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科 現役合格

高瀬 野ノ花 [千葉県立八千代高等学校 出身]

私は高2の春にふな美に迎いはじめました。基礎科では個性的なメンバーに囲まれながら、のびのびと制作することができました。デザイン・工芸科に来てからは今までとの違いにとまどったり、自分の作品や性格について悩んだりしましたが、周りのあたたかい人々に助けられて、走りぬくことができました。一年を週して、かなり自分と他人を比較して苦しくなって、寝る言葉もなにかも上手く受け取れなくなることばかりでしたが、なんだかんだどうにかなる時はあったので、あまり鬱になりすぎず(でもたまには休みつ)一気ずつ経験を積んでいけばいいと思います。意志薄弱で意見コロコロの私を引っ張ってくれた講師のみなさん、一緒にお菓子を食べて愚痴って笑って話してくれた同期と先輩方、ありがとうございました! ふな美は最高の学校でした!!



多摩美術大学 グラフィックデザイン学科 入試再現作品 色彩構成

鉛筆デッサン



石膏デッサン【鉛筆 / 木炭紙大白象紙】



立体構成【水粘土】
「集まる」または「集める」をテーマとした形体と
与えられたモチーフ(落花生)を組合せて立体構成しなさい。



色彩構成【B3サイズ】
生活のイメージを数点をモチーフに「Life」の文字と組合せて色彩構成しなさい。



色彩構成【B3サイズ】
与えられたモチーフ(カーネーション・アクリル球・紙テープ)とを組合わせて
色彩構成しなさい。



色彩構成【B3サイズ】
与えられたモチーフ(菊・落花生・ガラスコップ・刺果石)と
図版を構成要素として色彩構成しなさい。



構成デッサン【鉛筆 / 特大サイズ画用紙】
与えられたモチーフ(モンキーレンチ・トラロープ・ビニール紐素材)を
手と組合わせて構成デッサンしなさい。

総合受験部

総合受験部	月	火	水	木	金	土	日
[9:30~12:30]							●
実技 [13:30~16:30]							●
[14:00~17:00]						●	
[17:30~20:30]	●	●	●	●	●	●	

週末中心の実技で合格をめざす！

多種多様な実技試験への対応や、様々な学生の通学環境に応えるため、総合受験部は週末を中心とした授業日に4つの科を設置しています。共通テスト対策との両立が必要な大学、独自の実技課題を課す一般大学などへの個別対策に加え、近年注目されている総合型選抜や学校推薦型選抜への対策まできめ細かく対応しています。また、部活動との両立や遠隔地通学など、個々の状況に合わせた受験対策、ポイントを押さえた指導を行なっていきます。

FEW DAYS CLASS

★ 総合受験部の対象学生 限られた時間だからこそ、1日でも早くスタートしよう。

● 国公立大志望で学科のウェイトが高い人

2025年度入試共通テストより「情報」が教科として新設されます。今まで5教科以上を課していた大学では概ね「情報」が必修化されますので、より共通テスト対策に時間を割かれることになります。共通テスト対策と実技対策を両立するためには週末を中心としたクラスでバランスよく準備する必要があります。また東京藝術大学建築科や筑波大学芸術専門学群においては他の国公立大学と比べて実技のウェイトが高いので、早めに準備をスタートすることも大切です。

● 部活動で特定日しか通えない人

できれば油画・日本画・デザイン工芸各科の夜間部週6日授業に通いたいが、部活動があるため通えないという人も、最短週1日から対策を始めることが可能です。日曜日に部活がある場合は平日週2日夜間通学からスタートすると良いでしょう。6月前後で部活が終了する場合は、油画・日本画・デザイン工芸の各科週6日通学へ切り替える手続きも可能です。1日でも早く受験対策を始めることが重要です。

● 遠隔地で日曜しか通えない人

片道一時間半以上を要する地域の皆さんは、高校との両立を考えた場合、なかなか夜間部に在籍して週6日通うことが難しいと思います。普段は日曜の実技でポイントを掴み、夏期講習や冬期講習でなるべく多く受講することで受験の対策が可能です。学生会館等の手配に加え、本学独自の講習会費宿泊割引制度や入学時総合受験部を対象とした遠隔地特待制度も活用して志望校を目指しましょう。

● 技術よりもアイデアや個性を活かして受験する人

油画・日本画・デザイン工芸といった週6日通学で技術的な実力をつけるよりも、アイデアや個々に異なる自己制作の方が有効な美大受験も存在します。ウィークデーはインプットに充て、日曜受講時にアウトプットするリズムを作ることで、学科の勉強とのバランスも含め効率的に芸大美大合格を目指します。東京藝術大学の先端芸術表現科や私立美大の映像系が該当します。



構成油彩 [F15キャンパス] 油画科対策



卓上デッサン [B3画用紙] 日芸/桑沢デザイン対策



平面構成 [B3ケント紙] 筑波大デザイン系対策



構成デッサン [B4画用紙] 筑波大デザイン系対策



卓上デッサン [B3画用紙] 日芸/桑沢デザイン対策

- 全科
- 絵画・デザインのみ
- 先端・映像のみ
- 建築のみ

高校生・高校卒業生対象

実技授業 火・水(17:30~20:30)先端芸術・映像
 木・金(17:30~20:30)絵画・デザイン
 土(14:00~20:30)建築
 日(9:30~16:30)全科

過去14年間の合格実績(絵画・デザイン)

筑波大学 41名	多摩美術大学 36名
千葉大学 30名	武蔵野美術大学 82名
東京学芸大学 14名	東京造形大学 24名
東京都立大学	女子美術大学(短期合) 67名
沖縄県立芸術大学	日本大学芸術学部 58名
富山大学	横浜美術大学 9名
長岡造形大学	東京工科大学 11名
秋田公立美術大学	京都造形芸術大学・東北芸術工科大学
等、国公立大学合格	神戸芸術工科大学・東京家政大学
	共立女子大学・玉川大学・東海大学
	等、私立大学合格
	桑沢デザイン専門学校合格

★総合受験部のクラス いつでも選択日の変更が可能

◆全授業日選択(全科) 週4単位

勉強や部活とのバランスを取りながらも、実技力を早めに伸ばすのに必要な時間を効率よく確保しています。講師と進路相談する時間も多く取れます。(科ごとに授業の曜日が異なりますので注意してください。)

火(夜間)	水(夜間)	木(夜間)	金(夜間)	土(午後)	土(夜間)	日(午前)	日(午後)
		絵画 デザイン	絵画 デザイン			絵画 デザイン 先端・映像	絵画 デザイン 先端・映像
先端・映像	先端・映像			建築	建築	建築	建築

◆日曜選択(全科) 週2単位

遠隔地で週末しか通えない人、学科重視の国公立志望で平日は学科の予備校・塾が忙しい人に適しています。1日6時間実習で効率優先のカリキュラムです。

日(午前)	日(午後)
絵画 デザイン 先端・映像 建築	絵画 デザイン 先端・映像 建築

◆夜間平日選択(絵画・デザイン・先端映像 各科) 週2単位

日曜日に部活動や学科の予備校があつて通えない人、夜間の授業の方が都合の良い人に適した選択です。日曜選択と比較して基礎力向上にウエイトをおいたカリキュラムで、実技力のレベルアップを目指します。

火(夜間)	水(夜間)	木(夜間)	金(夜間)
先端・映像	先端・映像	絵画 デザイン	絵画 デザイン

◆土曜日選択(建築科) 週2単位

1日6時間実習で、土曜日午前に高校の授業がある人でも通える時間設定になっています。週1日で効率よく学べるカリキュラムです。

土(午前)	土(夜間)
建築	建築

★総合受験部の対応4科

総合受験部 絵画科

鉛筆や木炭でのデッサンを中心に、油画/日本画等の絵画系学科や教育学部への対策を行います。各期講習会では、本学の油画科・日本画科との連携で実技力のアップをはかります。 P34へ

総合受験部 デザイン科

各種デッサンに加えて、平面構成等の絵の具を使った美大実技や工学部系デザインにも対応します。絵画系同様、各期講習会でデザイン・工芸科のコースに参加することができます。 P35へ

総合受験部 先端芸術・映像科

東京藝術大学先端芸術表現科をはじめとして、武蔵野美術大学映像学科等の映像・アニメーション系の入試実技に対応した実習を行います。小論文等文章実技の対策も可能です。 P36へ

総合受験部 建築科

東京藝術大学建築科をはじめ、私立美術大学建築系から早稲田大学創造理工学部等、理工系建築学科の実技までポイントを押さえた対応が可能です。 P40へ

筑波大学 芸術専門学群 現役合格(一般入試)

武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科 同 基礎デザイン学科 同 油絵学科 グラフィックアーツ専攻 同 芸術文化学科
 女子美術大学 デザイン・工芸学科 ヴィジュアルデザイン専攻 現役合格

松丸 恵里那 [私立国府台女子学院高等部 出身]

私は高校でもデザインコースに入っていました。高二からふな美の基礎科に週一日で通い始めました。基礎科の一年で時間管理や客観視がだいぶ身についたような気がします。高二は主に勉強中心でした。高三になってからは週三日でひたすら筑波の対策をしていました。色彩構成が上手くいかず泣いたこともありました。講師の方が今の自分に足りないものを示し励まして下さったことが心の支えになりました。推薦入試が終わる頃、傾向の違う平面制作で本願子に戻れない私のため先生方は課題の出し方を工夫して上手く私が対応できるようにして下さいました。また面接練習や試験直前に視野が狭くなった私を初めに導いてくれました。そのおかげで本番では自信をもって落ちついて試験に挑むことができました。ふな美に遇って講師の方々と一緒にいてくれたものがたくさんありました。二年間とても楽しかったです! どうもありがとうございました!

筑波大学 入試再現作品 平面構成



[総合受験部] 絵画科

鉛筆や木炭でのデッサンを中心に、
 油画・日本画等の絵画系学科の対策を行います。
 各期講習会では、本学の油画・日本画科との連携で
 実技力のアップをはかります。

総合受験部 絵画科	月	火	水	木	金	土	日
[9:30~12:30]							●
実技 [13:30~16:30]							●
[17:30~20:30]				●	●		

高校生・高校卒業生対象

実技授業

木・金(17:30~20:30)/日(9:30~16:30)

※全日[木・金・日(週3日)]

または[木・金(週2日)] or [日(週1日)] 選択 在学期間4~12月
 以後は冬期講習、入試直前講座での対応となります。

PAINTING

★主な志望校・志望学科で科を選ぼう

国立大

- 筑波大学 芸術専門学群 芸術系領域
- 東京学芸大学 教育学部 美術専攻
- 千葉大学 教育学部 図画工作・美術家教育分野
- 金沢美術工芸大学 美術科
- 秋田公立美術大学
- 長岡造形大学 美術・工芸学科

私立美術系

- 武蔵野美術大学 グラフィックアーツ専攻
- 東京造形大学 美術学科
- 女子美術大学 洋画専攻
- 日本大学芸術学部 美術学科
- 横浜美術大学
- 東北芸術工科大学 美術科



例：藝大美大志望 → 運動部で大会の終わる6月まで総合Aクラスで通学し、大会終了後は週6日の夜間部各科へ転部する。
 例：国立・私立併願 → 前期は勉強にウェイトを置き選択夜間C・日曜Bクラスで通学、学力の安定した後期に一段階クラスを上げて実習量を増やし、実技力を充実させる。
 例：国立志望・遠隔 → 遠隔地のため通えるのは日曜のみ。学科に重心を置いて、講習会時・入試直前に宿泊施設を利用して実技集中対策をする。
 所定の手続きを行うことで年の途中から 週1日(日)→週2日(夜間)→週3日(木・金・日)→週6日(夜間部・昼間部) への変更も可能です。

■ 1学期は基礎デッサン力を身につけよう

国立美術教育系・私立美術系ともに入試において重要なのは基礎デッサン力です。したがって、1学期は石膏デッサンや静物デッサンなどの基本課題を中心に基本的な構図の取り方や、描写力の育成に努めます。絵画科では木炭デッサンの実習も可能です。また、東京藝大や私立美術大学で着彩試験を必要とするみなさんは、なるべく早い段階で週6日通学に切り替えると良いでしょう。転部の時期や夏期講習の相談は1学期中に面接をしながらサポートします。

■ 夏期講習以降は志望校別対策へ

夏期講習以降は、それぞれの志望校試験課題を前提とした個別カリキュラムにしたがって実習していきます。総合型選抜、学校推薦型選抜志望の受験生はもう入試直前ですので、時間対応やポートフォリオ作成、面接練習などきめ細やかに対応します。総合受験部は2学期で授業が終了します。

■ 3学期は 入試直前講座でラストスパート!

年明けの大学入試共通テスト終了後「入試直前講座」を開講します。本講座は1日単位で受講申込が可能で、なおかつ完全個別対応ですから、自分の志望校の試験内容や受験日程に合わせてカリキュラムを調整できます。また、高校の自由登校に合わせて平日の授業時間を夜間3時間から昼間6時間に変更します。国立総合大学美術系・教育系分野、私立美大のデッサン系実技等幅広く対応します。(別途申込・追加分の受講料が必要です)

千葉大学 学校教員養成課程 小中専門教科コース 図画工作・美術教育分野 現役合格

稲葉 彩桃 [東京都立白鷺高等学校 出身]

私は高三の夏からふな美に会い始めましたが、無事志望校に合格することができ、本当に嬉しく思っています。小さい頃から絵を描くことは好きだったものの、本格的にデッサンを描いたのはふな美に入ってからが初めてでした。最初はデッサンに関する知識もあまりなく、不安でいっぱいでしたが、ふな美の先生方は基礎的な描き方から丁寧に教えていただきました。また、先生方はいつも的確なアドバイスをしてくださったため、少しずつですが毎回ステップアップしていくことができたと感じています。さらに私の受験する大学は面接もあったので、面接練習もして頂いたのですが、練習では緊張してきちんと答えを言えないこともありましたが、そこで先生方に注意して頂いたことを意識して家で何度も練習することで、本番では落ち着いて話すことができました。先生方や仲間がいたから、最後まで頑張ることができました。半年間、本当にありがとうございました。



千葉大学 入試再現作品

卓上デッサン

デザイン科 [総合受験部]

総合受験部 デザイン科	月	火	水	木	金	土	日
[9:30~12:30]							●
実技 [12:30~16:30]							●
[17:30~20:30]				●	●		

各種デッサンに加えて、
平面構成等の絵の具を使った実技にも対応します。
絵画科同様、各期講習会でデザイン・工芸科のコースに
参加することができます。

高校生・高校卒業生対象

実技授業

木・金(17:30~20:30)/日(9:30~16:30)

※全日[木・金・日(週3日)]

または[木・金(週2日)] or [日(週1日)] 選択 在学期間4~12月
以後は冬期講習、入試直前講座での対応となります。

DESIGN

★主な志望校・志望学科で科を選ぼう

国立大

- 筑波大学 芸術専門学群 デザイン系領域
- 千葉大学 工学部 デザインコース(総合型選抜)
- 東京都立大学 システムデザイン学部 インダストリアルアート学科
- 金沢美術工芸大学 デザイン科
- 長岡造形大学 デザイン系各科
- 富山大学 芸術文化学部

私立美術系

- 武蔵野美術大学 デザイン情報学科
- 多摩美術大学 情報デザイン学科
- 東京造形大学 デザイン系各科
- 女子美術大学 アート・デザイン表現学科
- 日本大学 芸術学部 デザイン学科
- 横浜美術大学 ○ 東北芸術工科大学 デザイン系各科



- 例: 藝大美大志望 → 運動部で大会の終わる6月まで総合Aクラスで通学し、大会終了後は週6日の夜間部各科へ転部する。
 例: 国公立・私大併願 → 前期は勉強にウェイトを置き選択夜間C・日曜Bクラスで通学、学力の安定した後期に一段階クラスを上げて実習量を増やし、実技力を充実させる。
 例: 国公立志望・遠隔 → 遠隔地のため通えるのは日曜のみ。学科に重心を置いて、講習会時・入試直前に宿泊施設を利用して実技集中対策をする。
 所定の手続きを行うことで年の途中から 週1日(日)→週2日(夜間)→週3日(木・金・日)→週6日(夜間部・昼間部) への変更も可能です。

■ 1学期は基礎デッサン力を身につけよう

デザイン系では国公立・私立美術大学ともデッサン力が最重要といえます。1学期は鉛筆デッサンを中心に、志望校により色彩の課題も取り組みます。東京芸術大学や5美大を目指す受験生は、遅くとも夏期講習会からはデザイン・工芸科(週6日クラス)で対策しましょう。また共通テストの科目数が多い大学を志望する受験生は、早い時期に学力を安定させ、入試直前に実技対策がおそろいにならないようにバランスよく学習しましょう。

■ 夏期講習以降は志望校別対策へ

夏期講習会からは個別入試対策が中心となります。国公立志望の受験生は共通テスト対策とのバランスを考えて実技対策します。総合型選抜や学校推薦型選抜志望の受験生はポートフォリオや事前課題の作成など志望校によって準備の仕方が大きく違います。それぞれの志望校に必要な準備を理解して進めることが大切です。絵画科と同様2学期で通常授業は終了です。

■ 入試直前講座で試験に強くなる!

総合受験部デザイン科の通常授業は推薦入試対策をメインとして2学期で終了しますが、一般入試対策は共通テスト終了後、「入試直前講座」で追加受講できます。通常授業同様個別対応のため、きめこまやかで実践的な対策が可能です。また、1日単位の受講申込が可能のため、試験内容や受験日程に合わせて受講が可能です。国公立総合大学デザイン系・理工系デザイン分野、私立美大デザイン系実技に対応します。(別途申込・追加分の受講料が必要です)

日本大学 芸術学部 デザイン学科 現役合格(総合型選抜)

早川 ひなの [千葉県立国府台高等学校 出身]

高三の四月から総合受験部に通い、夏期講習は総合型選抜のためにポートフォリオ対策コースを受講しました。総合型の受験はデッサンやポートフォリオの作成、プレゼンテーション等、こなすべき課題が多いものでした。制作する期間が学校行事と重なっていたため、進め方が非常に難しかったです。しかし先生方の手厚いご指導が、納得のいく課題の完成に導いてくださいました。右も左もわからずひとりで行うには行き詰まることも多かったですが、文章の添削や編集の仕方など、先生方のサポートにはとても助けられました。自身の強みを発見するきっかけにも繋がりました。当日の面接にも活かたと感じています。また、デッサン経験のない私でも、総合受験部の授業を経て着実に力をつけることができました。合格することができたのは指導にあたってくださった先生方のおかげです。本当にありがとうございました。



日大 芸術学部 デザイン学科
デザインプレゼンテーション

[総合受験部] 先端芸術・映像科

東京藝術大学先端芸術表現科をはじめとして、
武蔵野美術大学映像学科等の映像／アニメーション系の
入試実技に対応した実習を行います。
小論文等文章実技の対策も可能です。

総合受験部 先端芸術・映像科	月	火	水	木	金	土	日
[9:30~12:30]							●
実技 [13:30~16:30]							●
[17:30~20:30]	●	●					

高校生・高校卒業生対象

実技授業

火・水(17:30~20:30)/日(9:30~16:30)

※全日[火・水・日(週3日)]

または[火・水(週2日)] or [日(週1日)] 選択 在学期間4~12月
以後は冬期講習、入試直前講座での対応となります。

MEDIA ARTS & IMAGE

★「他人に伝える力」を磨く

先端芸術表現科及び映像科の試験では、自分のアイデアや考えを視覚表現として形にして言葉で表す力が問われます。どんな言葉を使い、どんな順番で語り、どんな絵を描けば作品が見る人に伝わるのか。講師との対話に限らず、時には生徒同士の対話を通じてトライアンドエラーを繰り返しあなたの伝える力を磨きます。

■ デッサン基礎力はオールレンジの対策

藝大先端芸術表現科の一次試験ではデッサンが選択でき、武蔵野美大映像科の試験も小論文の代わりに鉛筆デッサンが選択できます。また、共通実技試験でデッサンのみで受験できる大学も数多くありますので、デッサン基礎力をつけておくことは、まさに全方位的な対策となります。必要に応じて総合受験部デザイン科との連携でデッサン力を強化できます。日曜日には科の特色である文章課題や感覚テスト等を中心として実習します。

■ 現役合格のための集中カリキュラム

課題の条件や意図を的確に捉え、制限時間内に作品を仕上げることは入試を突破する上で必須のスキルとなります。ふな美では、時間をかけ丁寧に課題内容を読解し、対応していく力を育てるシーズンと、試験日と同様の時間割で制限時間を意識した作品制作を可能とするトレーニングを積むシーズンを分け、一年を遊してメリハリのある授業を展開しています。特に入試直前講座(要申込み)では、1日6時間程度実習できる授業形態となりますので、連続集中で実技力を向上させます。前日に指摘されたことを当日に改善し克服する、そのサイクルは2学期までの倍以上の速度で実行されます。試験日当日、確実に試験に対応できるように備える授業形態は、多くの生徒が一年で結果を出すことにつながっています。※共通テスト終了後は各高校の自由登校に合わせ、授業時間帯を原則午前午後に変更します。入試直前講座は別途申込み・追加分の受講料が必要です。

■ 土曜学科講座(要追加学費)

武蔵野美術大学映像学科が学部改組で造形構想学部となって以降、学科の難易度が大幅に上がりました。土曜学科講座のみでは十分とは言えませんが、付属する英語A1教材を活用することで、自宅学習や自習が効率的に行えます。実技と時間が重複しない曜日設定なので、不安のある人は土曜学科に申し込みましょう。※学科の受講には、入学時の申込登録、および別途学科学費が必要となります。※学科授業日は学科ページを参照。

■ 多角的なアプローチでアイデアを出す力を育てる

身体を使い五感を働かせて得た自分の発見に対して観察と分析をする授業を通じ、試験課題に取り組むための「材料を集める力」を育てます。現代美術も映像も既存のフォーマットに取りまり続けるものではなく、日々進化しています。これからあなたが学ぼうとしている表現方法の新たな側面と出会うことができるよう、美術や映像の過去を振り返ったり近年の作品を鑑賞したりする課題を設けています。

主な志望校

国公立大

○ 東京藝術大学 先端芸術表現科

私立美術系

- 武蔵野美術大学 映像学科・芸術文化学科
デザイン情報学科
- 多摩美術大学 芸術学科
- 東京造形大学 映画・映像学科 写真学科
- 東京工芸大学 映像学科 写真学科
- 女子美術大学 アート・デザイン表現学科
- 日本大学 芸術学部 映画学校・放送学科
- 横浜美術大学 (V・C系)



★ 個別課題

自分のやりたい表現とは一体どんなものか。作品にするために必要なことは何か。先端芸術・映像科では、これらの問いかけを出発点として講師のサポートのもと、生徒一人一人に寄り添いながらあなたの中にある想像やイメージを具体的に作品にしていけることができます。例えば、個人制作の課題では、自分が無意識に関心が向いている事柄や自分の作品の特徴に気づく格好の機会となります。このことは、その後の試験対策において自分の作品の強みに自覚的になり制作をすることに繋がっていきます。特に、先端芸術表現科の入試では自分の履歴や活動について紹介する「個人資料ファイル」の提出が課されています。ふな美の個別課題では、入試傾向を熟知した講師によるアドバイスを受けながら時間をかけて自分の作品をブラッシュアップしていくことができます。



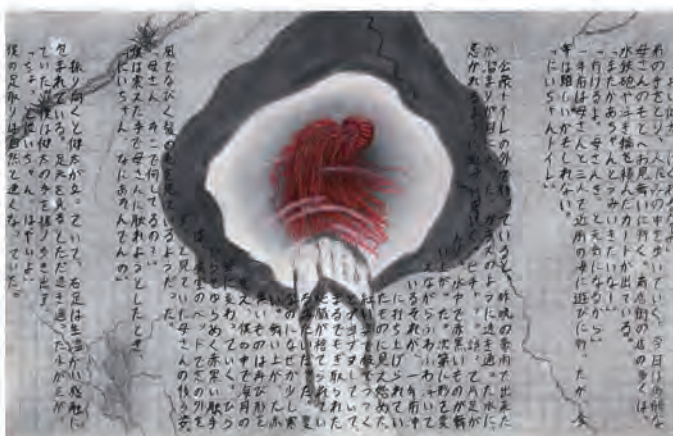
自主制作課題



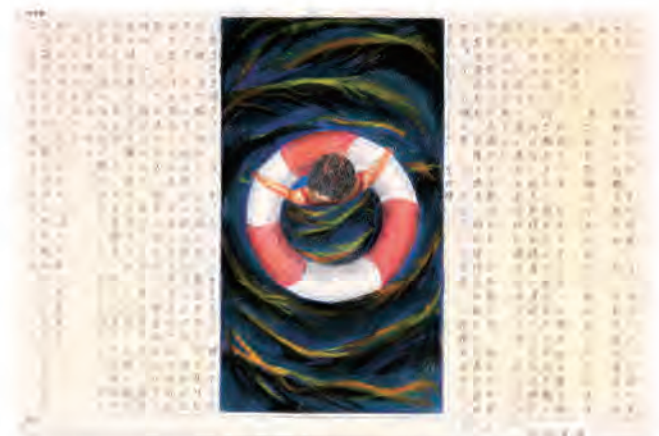
課題「グループ展示の企画と発表」

★ イメージデッサン課題

主に、武蔵野美術大学映像学科の感覚テストの対策として出題される課題です。この試験では、出題に沿った映像的なイメージを絵として画用紙に描き、文章で描写する力が問われます。ふな美の授業では、映像鑑賞や実写制作等の特別課題を実施することによって、カメラワークに付随する映像的效果や特徴について学ぶことができます。カメラがもつメディアの特徴を知るとは、この試験がカメラ越しの描写であるという実感に繋がります。感覚テストの試験で評価される映像的效果を意識した作品として仕上げることを可能にします。また、鉛筆・色鉛筆、パステルといった画材に順応していく訓練も必要です。ふな美では、過去に制作された先輩たちの作品の現物を手元に見ながら、短い制限時間に対応する効率的な制作手順について模索していくことができます。



武蔵野美術大学 感覚テスト 入試対策 参考作品



武蔵野美術大学 感覚テスト 合格者再現作品

★夏期ポートフォリオコース



昨今、美術大学の入試において総合型選抜(AO)や学校推薦(推薦)は数多くの形式で実施されています。早期に志望大学入学のチャンスを得られるものとして、出願条件を満たす学生にとっては定番の受験方法となりつつあります。「志望理由」や「現在までにあなたが意欲的に取り組んだこと」は多くの大学でよく質問される項目になります。ふな美ではそのような項目に答えられるよう、個別面談によって必要な掘り下げを行い提出資料に記載するべき情報を整理してサポートしていきます。またこのような細やかなヒアリングは生徒それぞれが持つ個性や強みを引き出すことに繋がりますので、ポートフォリオ資料作成の際の指標ともなり、大学に提出する資料全ての内容に一貫性を持たせることができます。

■ 桑沢デザイン研究所 総合デザイン科 合格作例

みんながワクワクするような文房具や生活用品をデザインした。パッケージと製品の両方を手掛け、企画から完成までの全てをドキュメント。製品として実用できるクオリティを追求したサンプルを掲載するなど見所の多いポートフォリオとして仕上げた。

ねこのて
mouse pad

猫好きの 猫好きによる 猫好きのための ホチキス

猫の手印を再現したホチキスです。猫好きの1つ、猫の手印を再現しました。ホチキスの手印は猫の手印を再現しました。猫の手印を再現しました。猫の手印を再現しました。猫の手印を再現しました。

1. 素材
2. 色
3. 形状

猫の手印を再現したホチキス
猫の手印を再現したホチキス
猫の手印を再現したホチキス

CONCEPT

猫の手印を再現したホチキスは、猫好きの1つ、猫の手印を再現しました。猫の手印を再現しました。猫の手印を再現しました。猫の手印を再現しました。猫の手印を再現しました。

ホチキスの手印を再現したホチキスです。猫の手印を再現しました。猫の手印を再現しました。猫の手印を再現しました。猫の手印を再現しました。猫の手印を再現しました。

パッケージカバー

お弁当の容器のカバーは、猫好きの1つ、猫の手印を再現しました。猫の手印を再現しました。猫の手印を再現しました。猫の手印を再現しました。猫の手印を再現しました。

お弁当の容器のカバーは、猫好きの1つ、猫の手印を再現しました。猫の手印を再現しました。猫の手印を再現しました。猫の手印を再現しました。猫の手印を再現しました。

■ 日本大学芸術学部デザイン学科 合格作例

自分がこれまで遊んできたおもちゃの数々をふりかえり、次世代に遊んでもらえるようなボードゲームやカードゲームを提案した。ルールを含めたおもちゃの展開も掲載し、おもちゃのデザインをやりたいという志望動機を具体的に明示した。

BE-01 プライムエディション

製品の特徴

CONCEPT

自分がこれまで遊んできたおもちゃの数々をふりかえり、次世代に遊んでもらえるようなボードゲームやカードゲームを提案した。

★ポートフォリオの完成まで

高校の授業や予備校で制作した作品の日付やタイトルなどの記録を残し、きちんと管理しておくことで、ポートフォリオの資料に入れることができます。また、これまでの学生生活で特に力を入れたこと、例えば部活動や大会の活動を示すものもあなたをアピールする要素となります。ポートフォリオを作る時に大切なのは、あなたがどんな人物か、どんなことに興味があり、どんなことをしてきたかが視覚的に伝わるようにすることです。自分の学生生活を振り返りながら、早い時期から準備することで、ポートフォリオの完成度と内容の充実度を上げることができます。



★充実した編集環境



ポートフォリオの作成に必要なPCや撮影機材、各種ソフトなどが揃えられており、編集のための環境が整えられています。ポートフォリオの提出形態の中には、新たに自主制作をして資料にまとめなくてはならないケースもあります。ふな美では、あなたが志望する大学や専攻したい科に合わせ、過去の作例を参照し適切なアドバイスを受けながら編集を進めることが可能です。

■ 女子美術大学 メディア専攻 合格作例

生き物の名前や生態をヒントに海を舞台にしたPRGゲームに登場するキャラクターをデザインした。

ゲームだけでなくキャラクターにも夢中になってもらいたいという作者の思いが紙面に溢れ出る魅力的なポートフォリオとなっている。



合格実績

- 筑波大学 芸術専門学群
- 武蔵野美術大学
 - ・映像学科 ・工芸工業デザイン学科 ・空間演出デザイン学科
- 多摩美術大学
 - ・絵画学科
- 東京造形大学
 - ・美術学科彫刻学科 ・デザイン学科写真専攻 ・デザイン学科アニメーション専攻
 - ・デザイン学科メディアデザイン専攻 ・デザイン学科インダストリアルデザイン専攻
 - ・デザイン学科グラフィックデザイン専攻 ・デザイン学科テキスタイルデザイン専攻

※映像系以外の学科・専攻は他科との連携が必要となることがあります。

- 女子美術大学
 - ・美術学科洋画専攻 ・美術学科美術教育専攻
 - ・アート・デザイン表現学科メディア表現専攻
 - ・アート・デザイン表現学科ヒーリング専攻
- 日本大学芸術学部
 - ・デザイン学科 ・演劇学科舞台美術コース
- 東京工芸大学芸術学部
 - ・写真学科 ・映像学科 ・デザイン学科
 - ・アニメーション学科 ・ゲーム学科

[総合受験部] 建築科

過去15年間連続
東京藝術大学 建築科
計23名合格!

東京藝術大学建築科をはじめ、
私立美術大学建築系から
早稲田大学創造理工学部等、理工系建築学科の実技まで
ポイントを押さえた対応が可能です。

総合受験部 建築科	月	火	水	木	金	土	日
[9:30~12:30]							●
実技 [13:30~16:30]							●
[14:00~17:00]						●	
[17:30~20:30]						●	

高校生・高校卒業生対象

実技授業 土(14:00~20:30)/日(9:30~16:30)

※土・日(週2日)または 選択 土or日(週1日)

在学期間 4~12月

以後は冬期講習、入試直前講座での対応となります。

ARCHITECTURE

★主な志望校・志望学科で科を選ぼう

[芸大美大系] 国公立大

東京藝術大学 建築科
筑波大学 芸術専門学群 建築デザイン領域

[芸大美大系] 私立大学

武蔵野美術大学 建築学科
多摩美術大学 環境デザイン学科
東京造形大学 室内建築専攻
東北芸術工科大学 デザイン工学部

[工学部系] 国公立大

横浜国立大学 建築学科AO
宇都宮大学 地域デザイン科学部
京都工芸繊維大学 造形科学域

[工学部系] 私立大学

早稲田大学 創造理工学部
千葉工業大学 創造工学部



■ 学科と実技のバランス伝授

建築系学科の入試では、工学系だけではなく、芸大・美術系大学でも十分な学科の力が要求されます。学科の勉強だけ、あるいは実技の勉強がメインの他科の入試とは違い実技と学科を両立させて受験準備を進める必要があります。本科では、個別の面談を通してそのためのノウハウを伝授します。

■ 少人数・個別指導による高い合格率

都内大手を上回る合格結果は、徹底した少人数制・個別指導の成せる技です。ただし、比較対象人数が少ないためデッサン力の向上等、基礎力の養成には一定の人数の中で切磋琢磨する環境も必要です。日曜日は建築写生や空間構成など建築科ならではの課題を多く実習していきます。

■ 実技・学科両試験に向けて最終調整

3学期は共通テスト終了後に入試直前講座として授業を開始し、各大学の過去問題等を実習しながら試験時間の対応力をつけていきます。共通テスト以外に独自の学科試験を課す工学部系受験者は、学科と実技のバランスを考えながら実技対策を行います。芸大美大系受験者は入試直前講座(要申込み)にて集中的に実技の最終調整を行って試験に臨みます。入試直前講座では実際の試験時間に合わせ午前開始とし、一日6時間程度実習できるようになります。

■ 2学期は、綿密な志望校対策で効率よく実習

2学期は1学期で養ったデッサン力を各志望校別の課題に活かせるよう、個別の志望校対策を綿密に行っていきます。大学入学共通テスト等、学科の対策も重要時期なので、両立ができるよう担当講師と受講日程の調整をしながら効率良く実習します。各大学の各大学の総合型選抜(AO)や学校推薦(推薦)入試を受ける場合は、最重要の対策期間となります。

東京藝術大学 建築科 合格 武蔵野美術大学 建築学科 多摩美術大学 環境デザイン学科 合格

押元 伽弥 [私立専修大学松戸高等学校 出身]

高一の秋からふな美に通い始めた私にとって、受験はとてつもないものでした。長い受験生活であったからこそ、不安や悩みの数も多くありましたが、講師の方々の親身なアドバイスにいつも励まされました。共に課題に取り組んできた仲間、真実に向き合ってくれた講師の皆さんがいるふな美は、試験に臨む時の大きな心の支えであったと思います。長い受験生活を支えてくれた家族、友人、ふな美……今年を支えてもらっている事を改めて強く実感する年でした。そして、その支えがあったからこそ迎えられた結果だと思います。長い間ありがとうございました。



東京藝術大学 入試再現作品 一次試験「空間構成」



二次試験「総合表現」

★ 建築系で出題される実技試験

■ 静物デッサン(建築系モチーフ)

建築科で身につけるべき観察力と表現力、すべての基礎となります。建築科では椅子などの家具をはじめとする工業製品や各種素材をモチーフにして、特にパース、距離感といった空間的な表現に重点をおいてデッサンの基礎を習得します。



■ 建築写生

鉛筆や透明水彩絵具で、実際に建物の建っている現地におもむき建築物を写生する課題です。スケールの大きな空間の把握、構造や形態などの建築物に対する観察力だけでなく現地でも感じることでできない空気感など様々な要素を計画的に表現することが重要です。



■ 総合表現

与えられたテーマ(素材、文章、図、文献など様々)から自分なりに想像した空間を、ドローイングや立体、文章を駆使して表現する課題です。独創的な空間であることだけでなく、与えられたテーマに対する理解力・洞察力、空間を表現する描写力、作品の制作意図を的確に伝えるための説明する能力など総合的な表現力を必要とします。



東京藝術大学 入試再現作品 全体像



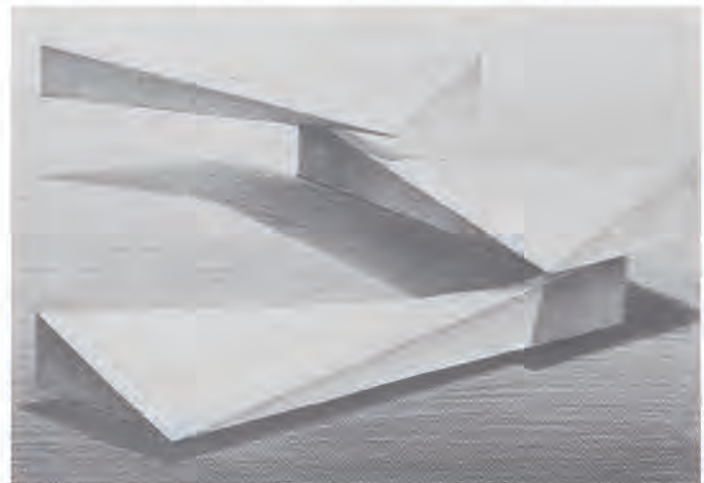
東京藝術大学 入試再現作品 象徴的な場面



内部空間 参考作品

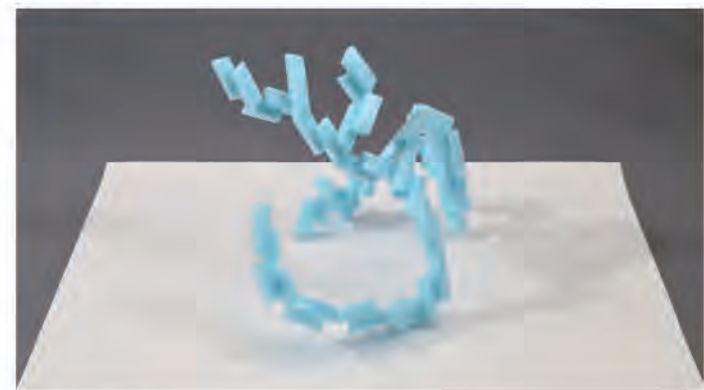
■ 空間構成

空間構成とは、頭の中に自らがデザインした空間をデッサンする課題です。物を見ながらデッサンする静物デッサンと違い、頭のなかで想像した風景をデッサンしなければならないため、限りなくリアルに空間をイメージし、それを絵として表現しなければならない高度な表現です。静物デッサンや日々の生活でいかに研ぎ澄ました観察をしているかも重要な要素です。



■ 立体構成

立体構成を課す入試はほとんど行われなくなりましたが、昨年は東京藝術大学建築科の入試にて提出対象となりました。建築を志す人間として、空間把握・スケール感を意識するには最適な課題です。それと同時に、紙やアルミ板、ウレタンなど様々な素材に触れて、その特性を活かす術も実践します。全方位からの視点で制作することも大切です。



基礎科 高校生 [週1日～6日制]

「好き」から始めよう。

将来美術方面の進路を希望している高校1・2年生を対象にしています。

東京芸術大学・武蔵野美術大学・多摩美術大学など実技レベルの高い大学に現役合格を目指すのであれば、

一日でも早くスタートするのが望ましいと言えます。本学院の芸大合格者・私大現役合格者の大半が基礎科出身であることから、

早めに基礎から取り組むことが合格のチャンスを広げてくれます。近年の入試の多様化に対応すべく、

各分野の経験豊富な講師が基礎から優しく丁寧に指導しますので、未経験の人でも安心して始めることができます。

BASIC SECTION



★基礎科から始めるメリット

メリット1 まずは道具の使い方から

鉛筆の削り方から実技に必要な道具について優しく丁寧に教えてもらえます。各科の講師がいるので様々な画材について専門的なアドバイスを受けられます。(木炭・鉛筆・アクリル絵具・油彩・透明水彩など)

メリット2 制作する姿勢が身につく

日々の制作を通して観察力や発想力を養い、それらを形にする力を習得できます。これから美術を続けていく上で大切な姿勢を身につけることが出来ます。

メリット3 受験生になる前にいろいろな経験をする事で自分の方向性が見つかる

将来受験する大学や各専攻科、学科などについての情報を早めに知ることができます。受験科にはデザイン・工芸、油画、日本画などいろいろな科があります。それぞれ使う画材や実技内容が異なるので、基礎科でいろいろな経験することで自分の適正が見極められます。

メリット4 同じ目標を持った友達ができる

上達するには一緒に勉強する仲間存在も重要です。学校の友達とは違う「美術」という共通の目標を持った友達ができ、互いに切磋琢磨しながら成長できます。

★特別な授業と行事

■基礎科コンクール(学期末ごと)

基礎科の全クラス合同でコンクールを行います。各学期末ごとに行うので、お互いに高め合うきっかけになるでしょう。

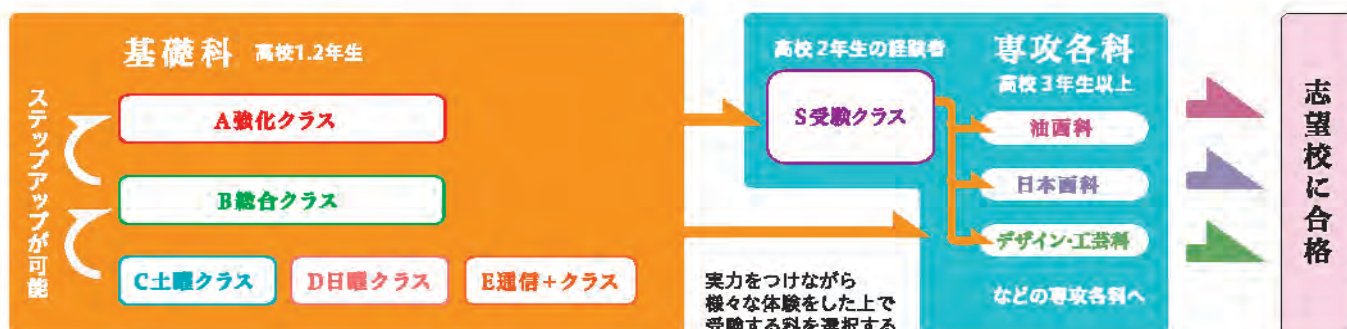
■入試説明会(三学期)

芸大・美大の入試に関する「実技」と「学科」について、各科講師が最新のデータをもとに出題傾向や配点、合格点などを詳細に説明します。

■春期 ■夏期 ■冬期講習会

普段の授業とは違い、ある期間集中して実技を経験することで、より基礎的な力を高めると同時に描く楽しさや作る楽しさを実感できます。

★志望校合格までの流れ 描きたくなったらステップアップ!



★ 自分のペースでクラスを選ぼう！

将来受験するどの美術専攻分野においても「基礎がしっかりしている」ことが望めます。高校の授業や部活動のある高校1・2年生は、無理のないクラスから始め、ステップアップしながら実技力をつけていきましょう。実技週1日～6日まで、バリエーションに富んだクラス設定から選択できます。



基礎S受験クラス [実技週6日制] 「実技経験をいかして受験準備をする」という人に。

高校2年生以上の実技経験者で、油画・日本画・デザイン・工芸の受験選択がすでに決定している人は、一步早く夜間部受験各科の月～土の授業に参加することが可能です。受験生と一緒に実技を行うことで、次年度現役合格へ向けた「飛び級」実習が可能です。途中でステップアップする場合は、まず各期講習会等で受験各科の実技に参加してみるとよいでしょう。



基礎A強化クラス [実技週4日制] 「自分の進路は美術に決めた」という人に。

デッサンや着色を中心に週4日間制作する中で、デッサン力や構成力、色彩による感性を磨き上げます。また制作時間にゆとりがあるので、各受験科の試験内容に即した構成課題や塑造、コラージュなど様々な体験の中から自己の専攻を決めることができます。すでに専攻する科を決めている人も各分野の講師による専門的な実習が受けられます。

基礎B総合クラス [実技週3日制] 「高校生活とのバランス」を重視する人に。

部活動や勉強など、高校生活とバランスよく両立させたい人向けのコースです。デッサンから始め、着色など様々な課題を幅広く学び、着実に力をつけることができます。



基礎C土曜クラス 基礎D日曜クラス [実技週1日制] 「まずは始める!」という人に。

遠隔地居住の人や、学校の授業・部活等で平日の基礎科夜間部に通えない人をはじめ、これから美術を始めようと思っている高校1年生にも最適なクラスです。原則としてC(土曜)D(日曜)いずれかの固定クラスを選択してください。



基礎E通信+クラス 「定期的に通えない」という人に。

遠隔地に居住の人、部活や習い事などで通えない人、あるいはA～Dクラスのいずれの日程も合わないという人に向けて設置しているクラスです。普段は通信基礎クラスとして月に1～2課題の実習を家庭で行いながら、学院に来られる日には描いたものを持参して個別講評を受けることができます。またリモートを希望する人には動画による講評も受けられます。定期的に通えるようになったら各クラスへステップアップしましょう。

基礎選択学科 [土曜午前選択制] 受験生と同じクラスでの実習となります。

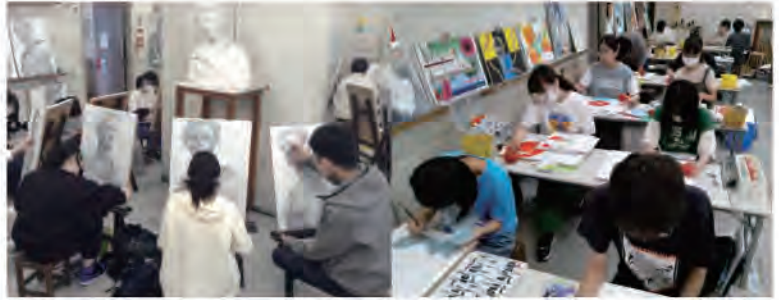
現役での合格をめざす基礎科の皆さんをサポートします。基礎的な学力試験を課す美大入試においては、中学時代の英語をしっかりと見直しておくことが重要なので、基本に立ち返って学年の区別なく取り組んでいきます。各クラスの実技授業と重ならない土曜午前希望者選択制です。学科に不安のある人は入学時に実技とセットでお申込みください。※実技授業に加え、学科授業料が発生いたします。途中追加も可能です。

基礎科 - クラス別日程 -

		月	火	水	木	金	土	日
■ S受験クラス	実技のみ(月・火・水・木・金・土) [17:30～20:30]	●	●	●	●	●	●	
■ A強化クラス	火・水・木・金 [17:30～20:30]		●	●	●	●		
■ B総合クラス	水・木・金 [17:30～20:30]			●	●	●		
■ C土曜クラス	(土) [14:00～20:30]						●	
■ D日曜クラス	(日) [9:30～16:30]							●
■ E通信+クラス	月に1～2 課題の通信教育 + 来られる日に講評・実技							

デッサン

石膏像、静物、人物、構成、イメージなど様々なデッサンを木炭や鉛筆を使って描き、基礎的な描写力を養います。



色彩表現

静物、人物、平面構成などの課題を透明水彩、アクリル、油彩などの素材を使って色彩について学び表現力を身につけます。



立体表現

粘土による模刻や紙等を使って立体的な感覚を養います。

クロッキー

人物、兎、鶏などの動くモチーフにもチャレンジします。



コラージュ

様々な素材を扱うことで応用力を身につけます。

講評

完成した作品をならべて講師に批評やアドバイスをもらう時間です。また他の人の作品と自分の作品を比べることで、客観的な目を養うと同時に他の人の良いところが吸収できます。



個別面接

定期的に行います。個人個人の成長に応じて的確なアドバイスがもらえ、制作中の何気ない疑問や質問にも講師が気軽に答えてくれます。また専攻する科の選択などで迷っている人には大きな手助けになるでしょう。



学科

年に3回の定期テストを行います。実際の美大の学科レベルを知ることができます。希望者は毎週土曜の基礎選択学科を追加受講することができます。

武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科 現役合格

鈴木 彩羅 【私立渋谷教育学園専修高等学校 出身】

わたしは高一から基礎科に選ばれるようになりました。毎日たくさんの面白いモチーフに出会って、絵を描く楽しさを知りました。気を張ってばかりのわたしにも先生は丁寧に指導してくださいました。デザイン・工芸科に進んでからは入試に向かってゆく緊張感と共に、人に見せる絵作りをする意識を学びました。上手いかなんかは大抵視野が狭くなっているときだと気付かされました。そんなときは自分が何を楽しいと信じるか、相手がどう思うかをよく考えて次に繋げようとしていました。三年間の受験生活を送ることができたのは、ふな美の先生、事務の方々、友人のおかげです。この経験を糧にして、大学やその先も頑張ります。本当にありがとうございました。



武蔵野美術大学 入試再現作品 デザイン



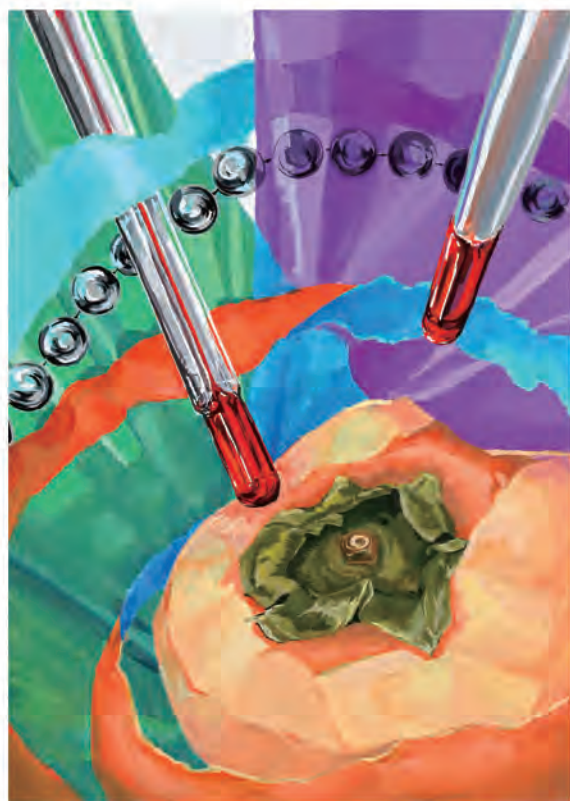
静物デッサン



石膏デッサン [木炭 木炭紙]



静物色彩 [アクリル絵具 木炭紙大画用紙]



構成色彩 [アクリル絵具 B3画用紙]



構成デッサン [鉛筆 B3画用紙]

多摩美術大学 絵画学科 油画専攻 現役合格

秦 真心 [千葉県立船橋高等学校 出身]

私がふな美にやって来たのは、たしか二次の五月頃で、人生初の木炭デッサンに夢中になったのを覚えています。基礎科ではデザイン科寄りの課題もあったりして良い経験になりました。私は三年夏まで日曜クラスだったため、夏期講習で油画科に合流した時は周囲の上手さと個性の強さに不安を覚えたりもしましたが、とにかく周囲から遊めるものは遊びまくりなんか食らいつけていたのかなと思います。二年夏頃から精神を病んでしまい一時は高校卒業も無理かと思われ進学なんて夢のまた夢でしたが、絵が好きな気持ちや同級生のサポート、皆が全力で制作に取り組んでいたふなび油画科の環境と真摯に向き合って下さった講師の先生方、そういつたすべてのもののおかげでここまでやってこられました。ふな美でなければ諦めてしまっていたようにも思います。本当にお世話になりました。

多摩美術大学 入試再現作品 油絵





静物着色 [油彩 F15号キャンパス]



静物デッサン [木炭 木炭紙]



構成デッサン [鉛筆 B3画用紙]



構成着色 [アクリル絵具 B3画用紙]



構成着色 [アクリル絵具 B3画用紙]



構成デッサン [鉛筆 B3画用紙]

武蔵野美術大学 空間演出デザイン学科 現役合格

多摩美術大学 環境デザイン学科 女子美術大学 デザイン・工芸学科 環境デザイン専攻 現役合格

齋藤 菜々 [千葉県立松戸高等学校 出身]

ふな美に来てよかった!

私は高2の夏期講習からふな美に強い始めました。周りに受験生の先輩方がたくさんいた上に、構成デッサンや色彩構成のやり方もわからない時期だったので、かなり辛かったです。夏期講習後から基礎科に選ばれました。進路はずっと多摩美術グラフィックデザインで考えていましたが、高校の授業で環境デザインに興味を持ち、高三になってから環境デザインの対策を始めました。高三になってからの対策じゃ遅いと思いましたが、先生方が個人の対策の時間を作ってくださいました。私は学科が苦手なので実技で点を取らないと思いましたが、入試直前まで自分の武器が見つけれず苦戦しました。本当にギリギリで自分の武器を見つかり、先生方にもたくさん指導をしていただき、更に武器を磨くことができました。そのおかげで入試当日も楽しく制作できました。初めは苦手だった台形構成もデッサンも好きになれたのは、ふな美で指導していただいたからだと思います。本当にありがとうございました!



武蔵野美術大学 入試再現作品 デザイン



鉛筆デッサン



構成着彩【アクリル絵具 B3画用紙】



石膏アッサン【鉛筆 木炭紙大画用紙】



静物アッサン【鉛筆 木炭紙大画用紙】



人物アッサン【鉛筆 木炭紙大画用紙】

武蔵野美術大学 油絵学科 油絵専攻 現役合格

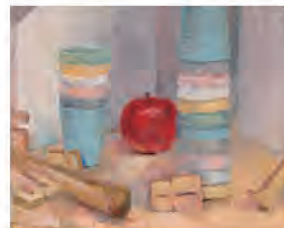
笠原 佳恋 【私立国府台女子学院高等部 出身】

同 グラフィックアーツ専攻 多摩美術大学 絵画学科 油画専攻 現役合格

私は高二の冬期講習からふな美に巡り始めました。基礎科に在籍していた当時、私は漠然と高三からデザイン科に移動するんだらうと思込んでいたのですが、春期講習前の面談で「決まった型が窮屈だと感じるなら油画科にした方がいい」と言われ、油画科に入ることを決めました。自分の描きたい絵がわからず思い悩むこともありましたが、わからないなりに試行錯誤していくうちに自分なりの表現を掴むことができたのではないかと思います。油画科で学んで良かった一番のことは、一枚の絵を見たときの鑑力の引き出し方を知れたことです。これは単純なようでいて意識するのは意外と難しく、難しいからこそ、ここで学んだことは確実にこれからの力になってくれると思います。今までお世話になりました。



武蔵野美術大学 入試再現作品 アッサン



油彩

基礎科 中学生

絵を描くのが好きな中学生集まれ!

好きなことや得意なことで自信をつけることはとても大切です。

学校での美術の時間は限られているため、もっと描きたい、

上手になりたいという中学生には最適のコースです。

楽しく描くことから始めて、美術・デザインコースのある高校進学も視野に入れ、

充実した環境で力を養いましょう!

主な受験対象高校

千葉県立松戸高校(芸術科)

茨城県立取手松陽高等学校(美術科)

潤徳女子高等学校(芸術)

東京都立つばさ総合高等学校(美術・デザイン)

国府台女子学院高校(美術デザイン)

女子美術大学付属高等学校

東京都立総合芸術高等学校

トキワ松学園高等学校(美術)

★ 基礎科中学生コースの授業とやれること

■ まずは基本のデッサンから!

鉛筆の削り方から始まって、構図や形の取り方、立体感や質感の出し方など基本的な内容を軸にしっかり学んでいきます。じっくりものを観察することで、集中力を養い、しっかりとデッサン力を身につけましょう。

■ 絵の具を使って着彩にチャレンジ。

小学校の時に使っていた水彩絵の具には馴染みがあるかもしれませんが、着彩道具には透明水彩、アクリル、油彩といった種類のものであり、画材によってそれぞれ特徴があります。希望に応じて着彩課題も選択できるので、興味がある人はどんどんやってみましょう、色を混ぜたり、重ねたりする中で様々な発見があるでしょう。

中学生3時間クラス [土曜 a/b・日曜 d/e] 3時間

1日1単位3時間の実習を行うクラスです。千葉県立松戸高校芸術科や国府台女子学院美術デザインコース受験の実技に対応可能です。クラスの時間選択が豊富ですので、学習塾などと併用して受講するのに適しています。小学生は絵画教室が豊富にありますが、中学生対応の美術教室は数が限られてくると思いますので、少しでも自信を持って「好きなこと」が継続できるよう中1からの参加も歓迎いたします。土曜は午後aクラスと夜間bクラス、日曜は午前dクラスと午後eクラスが選択できます。

aクラス (土) [13:30~16:30] **bクラス** (土) [17:30~20:30]

dクラス (日) [9:30~12:30] **eクラス** (日) [13:30~16:30]

中学生6時間クラス [土曜 c・日曜 f] 6時間

1日2単位連続で、6時間実習するクラスです。東京都立総合芸術高等学校の一般入試4時間制作に対応するほか、女子美大付属高等学校の推薦入試で持参するデッサンや着彩作品等をじっくり制作することができます。また、受験学年でなくても1日ゆっくりと制作したい生徒も参加できます。土曜cクラス、日曜fクラスが対象となっています。

cクラス (土) [13:30~20:30] **fクラス** (日) [9:30~16:30]



	土	日
月・金		9:30 d f 12:30 休憩
中学校の授業	13:30 a c 16:30 休憩	13:30 e f 16:30
	17:30 b c	
	20:30	



静物デッサン [鉛筆 B3画用紙]



構成デッサン [鉛筆 B3画用紙]



静物デッサン [鉛筆 B3画用紙]



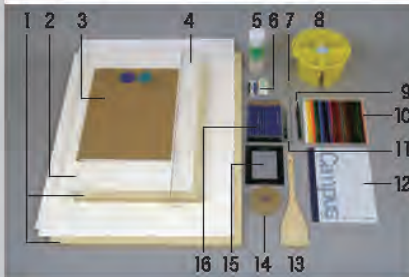
構成デッサン [鉛筆 B3画用紙]

使用画材一覧

各科で使用する基本的な画材道具です。

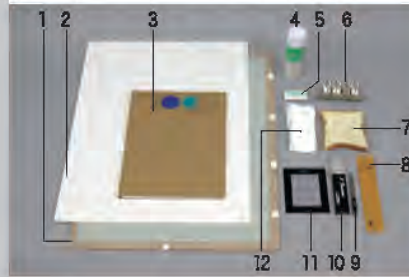
※科、カリキュラム内容によって使用する物が異なる場合があります。

鉛筆デッサン用具



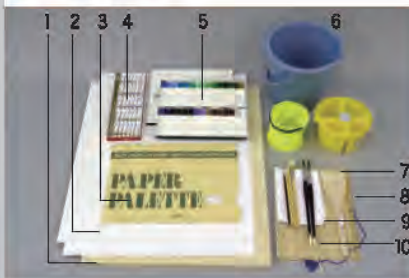
1. パネル(木炭紙大・B2・B3・P20)
2. 紙(画用紙・白象紙)
3. クロッキーブック
4. 直定規
5. フキサチーフ
6. 消し具・練り消しゴム
・プラスチック消しゴム
7. はかり棒
8. パケツ(水張り用)
9. シヤープペンシル
10. 色鉛筆
11. カッター
12. ノート
13. 刷毛(水張り用)
14. 水張りテープ
15. Dスケール
16. 鉛筆(6H~6B)

木炭デッサン用具



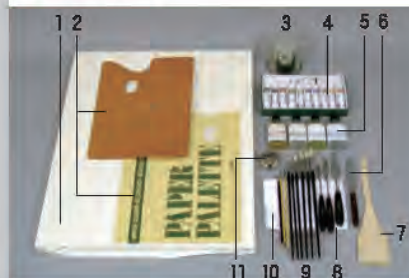
1. カルトン(木炭紙大)
2. 木炭紙MBM
3. クロッキーブック
4. フキサチーフ
5. 練り消しゴム
6. 目玉クリップ
7. 消しパン(食パン)
8. 芯抜き
9. カッター
10. 木炭
11. Dスケール
12. ガーゼ

着彩用具



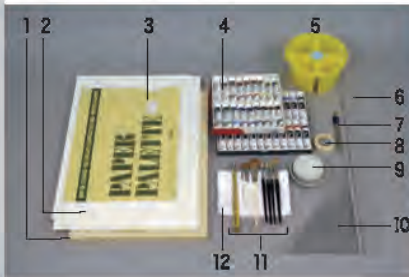
1. パネル(B2・B3・P20)
2. 紙(画用紙・白象紙)
3. 紙パレット
4. 透明水彩絵具(30色以上)
5. 金属製パレット
6. パケツ
7. 刷毛
8. 筆巻き
9. 雑巾
10. 筆
(則妙・面相・彩色・平筆等)

油彩用具



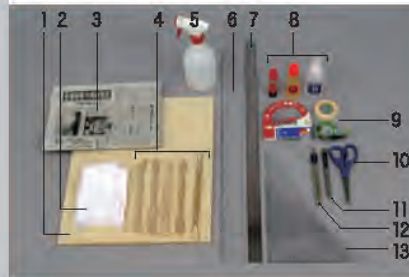
1. キャンバス(F15号)
2. パレット(紙製・木製)
3. 筆洗パケツ
4. 油絵具・メディウム
5. 消き油
・テレピン・リンシード
・シッカチーフ
・ペインティングオイル他
6. パレットナイフ
7. 刷毛
8. ペインティングナイフ
9. 筆
10. 雑巾・ウエス
11. 油壺

平面構成用具



1. パネル(木炭紙大・B3)
2. 画用紙
3. 紙パレット
4. 絵具
(アクリルガッシュ・リネテックス)
5. パケツ
6. 直定規(60cm)
7. コンパス
8. マスキングテープ
9. 絵皿
10. 三角定規
11. 筆
(則妙・面相・彩色・平筆等)
12. 雑巾

立体構成用具



※ ○=粘土用 ◎=紙・素材用

1. 粘土板○
2. 雑巾○
3. 新聞紙○
4. 粘土ヘラ○
5. 筆巻き○
6. 直定規○○
7. 金尺(60cm)○○
8. のり◎
・液状のり
・スティックのり
・ステレンのり
9. テープ◎
・両面テープ
・セロハンテープ
・マスキングテープ
10. はさみ◎
11. カッター○◎
12. コンパス◎
13. 三角定規○○

画材セット販売のご案内

これから実技を始められる方のために、着彩用具セット(アクリル・水彩・油彩)を販売しています。どうぞご利用下さい。
※セット内容は変更する場合があります。詳しくは当学院までお問い合わせ下さい。



初めてデッサンセット

- | | |
|----------|-----------|
| クロッキーブック | Dスケール |
| フィキサチーフ | 鉛筆(6H~6B) |
| 練り消しゴム | 木炭 |
| はかり棒 | 芯抜き |
| カッター | 目玉クリップ |
| ガーゼ | |



初めてのアクリルセット

- 紙パレット
絵具(アクリルガッシュ)
筆(則妙・面相・彩色・平筆等)



初めての水彩セット

- アルミ水彩パレット
透明水彩絵具
筆(則妙・面相・彩色・平筆等)



初めての油彩セット

- | | |
|------------|-------|
| 紙パレット | 筆洗油 |
| 油絵具 | 絵皿 |
| 筆(丸筆・平筆等) | オイル各種 |
| ペインティングナイフ | |

学科

昼間部生対象
N学科(週2日) 17:30~20:30

夜間部生対象
S3・4学科(土) 14:00~16:50

夜間部生及び基礎科生対象
S1・2学科(土) 10:00~12:50

英語にAI教材を導入！授業時間と連携して自宅学習もサポートします。

「絵が描ければ芸大・美大に合格できる」という時代がありました。今は、英語・国語をはじめとした学科の成績が大きく合否に関わるようになりました。フナビでは限られた時間で英語を中心にサポート。今は苦手だ、という生徒さんでも、1年間しっかりやれば、必ず受験に有利になります。一緒にがんばりましょう！

- 個々の学力差をまかない、自宅での復習も可能にするため英語のAI教材を併用します。
- 既卒・現役・基礎科を問わず、学科受講希望者にはAI教材の個別アカウントを設定します。
- 学習を続けることでAIが本人のレベルや抜け落ちを洗い出し、効率的に勉強することが可能になります。
- その上で、実際の授業では武蔵美や多摩美に出やすい単元など講師がアドバイスし、モチベーションを上げていきます。
- ※募集要項の学科授業料には、上記教材費用が含まれております。

★ 芸大・美大入試の重要ポイントは実技と学科の実習バランス！

志望校や専攻の違いによって学科の重要度が異なるところが芸大・美大入試の難しいところです。まずは志望校・専攻の入試データを確認し、自分の学力と実技力の現在位置を見極めるところから始めましょう。計画性を持って取り組みれば、必ず合格へ近づいていくはず。年の後半に実技に集中するためには、前期から学科の基礎をしっかりとっておくことが何よりも大切です。

■ レベル別指導 年6回(基礎科は年2~3回)のテストで綿密に学力をチェックしながら、それぞれの学力レベルに合わせた授業を展開します。わからないまま「傾向と対策」を行っても実際の点数には結びつきません。担当講師が一人一人の状況を確認し、必要に応じてクラス分けや変更時期をアドバイスします。

	月	火	水	木	金	土
9:00	昼間部実技授業					S1 10:00~11:20 S2 11:30~12:50 S3 14:00~15:20 S4 15:30~16:50
16:00	夜間部実技授業					N1 N2
17:30	夜間部実技授業					夜間部実技授業
20:30	夜間部実技授業					夜間部実技授業

N1/N2：夜間強化学科

○対象：昼間部受験生 受講希望者

昼間部生対象の週2夜間強化学科授業を行います。英語を中心として主に共通テスト対策の授業です。(12月終了)
※実技の夜間強化授業との併用を可能にするため、曜日が変更することがあります。

S1/S2：土曜午前学科

○対象：夜間部受験生及び基礎科生 受講希望者

夜間部受験生対象のオプション学科授業です。午後の授業についていくための補講として初級レベルから取り組みます。(受験生は12月終了。基礎科生は3月終了となります。)

S3/S4：土曜午後学科

○対象：夜間部受験生 受講希望者

英語レベル別に2クラスに分かれて進行します。夜間部受験生対象の通常学科授業です。
※基礎科生で土曜午前に高校等で参加できない人は申し出て下さい。

★ 一年間の授業進行／年6回のテスト結果で軌道修正

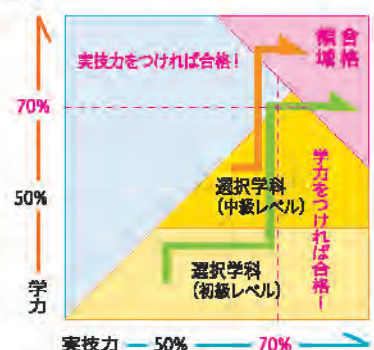


実技と学科の担当講師が志望校面接やテストの結果を踏まえ、学科の受講についてアドバイスします。また、各テストの成績によって学科のクラス変更や、実技へのスイッチングも適切に指導します。実技と学科のバランスをしっかりとって「合格領域」をめざしていきます。受験生用の学科は12月まで、基礎学科は3月までの授業となります。

★ 自分の力を確認してシナリオをつくる

学科の基礎力はあるが、7割とれるかは不安定。土曜午後の中級レベルの学科を受講し、学期中に学科を固める。夏期講習会で「傾向と対策」を行い、実力テスト2で学力向上を確認した後は、実技に集中して実技と学科のバランスを調整し、高得点で合格領域をめざす。

実技も学科も両方不安な位置からスタート。土曜は午前学科初級レベル/午後中級レベルで学科もしっかりおさえる。実力テスト2で一定のレベルに達したら、学科は土曜午後のみに切り替え、私大模試で7割取れば、以降は実技に集中して対策をとる。



★ 2023 年度入試 主要私立美術大学入試データ & 学科実技配点比率

イエローとブルーで表されているのが主要私立美術大学の学科と実技における配点バランスです。

多くの大学や専攻科でほぼ半分に近い、あるいは学科の比率のほうが高い場合もあります。学科で8割を目標にがんばりましょう。

	一般入試								共通テスト利用										
	募集人数	受験者数	合格者数	受験倍率	学科配点	実技配点	総点	合格者最低点	募集人数	受験者数	合格者数	受験倍率	学科配点	実技配点	総点	合格者最低点			
武蔵野美術大学	日本画学科	24	153	30	5.1	200	300	500	366	共2+専門	7	96	18	5.3	200	300	500	401	
	油絵学科	油絵専攻	72	427	90	4.7	200	300	500	361	共2+専門	30	358	59	6.1	200	300	500	394
		版画専攻	10	118	14	8.4	200	300	500	403	共2+専門	4	83	8	10.4	200	300	500	425
	彫刻学科	14	49	26	1.9	200	300	500	294	共2+専門	7	47	17	2.8	200	300	500	373	
	視覚伝達デザイン学科	80	640	132	4.8	200	300	500	333	共2+専門	37	598	88	6.8	200	200	400	290	
	工業工業デザイン学科	60	196	102	1.9	200	300	500	304	共2+専門	30	186	87	2.1	200	200	400	257	
	空間演出デザイン学科	47	152	82	1.9	200	300	500	303	共2+専門	26	133	71	1.9	200	200	400	260	
	建築学科	35	183	46	4.0	200	200	400	263	共2+専門	15	174	45	3.9	200	200	400	298	
	基礎デザイン学科	基礎デザイン専攻	35	375	104	3.6	200	200	400	256	共2+専門	12	158	41	3.9	300	300	600	332
			35	375	104	3.6	200	200	400	256	共2+専門	22	326	92	3.5	200	300	500	344
	芸術文化学科	芸術文化専攻	25	158	66	2.4	200	100	300	182	共2+専門	8	180	30	6.0	300	300	600	246
			40	343	85	4.0	200	200	400	271	共2+専門	10	118	33	3.5	200	100	300	219
	デザイン情報学科	23	105	51	2.1	300		300	177	共2+専門	13	162	86	1.9	300		300	204	
	映像学科	映像専攻	42	156	41	3.8	200	300	500	354	共2+専門	18	282	60	4.7	200	200	400	284
										共2+専門	8	170	18	9.4	300		300	251	
多摩美術大学	日本画専攻	24	159	33	4.9	200	300	500	413	I方式	4	102	10	10.3	200	300	500	441	
	絵画学科	油画専攻	70	461	114	4.1	200	300	500	387	I方式	50	461	91	5.2	100	400	500	443
		版画専攻	15	114	22	5.4	200	300	500	409	I方式	5	71	20	3.6	200	300	500	379
	彫刻学科	12	47	28	1.8	200	300	500	312	I方式	12	43	25	1.7	200	300	500	339	
	工芸学科	30	122	56	2.1	200	300	500	376	I方式	10	93	41	2.3	200	200	400	293	
	グラフィックデザイン学科	103	962	130	7.5	200	300	500	354	I方式	63	870	126	7.0	200	200	400	280.5	
	生産デザイン学科	プロダクト	25	102	30	3.5	200	300	500	379	I方式	15	100	31	3.4	200	200	400	286
		テキスタイル	20	80	23	3.7	200	300	500	409	II方式	2	48	2	24.5	400		400	368
	環境デザイン学科	35	137	71	1.7	200	300	500	366	I方式	15	106	30	3.7	200	200	400	318	
	情報デザイン学科	メディア芸術	30	157	45	3.4	200	300	500	377	II方式	15	128	37	3.6	400		400	269
		情報デザイン	21	379	76	5.1	200	300	500	376	I方式	11	124	40	3.3	200	200	400	283
	芸術学科	11	72	35	2.3	200	300	500	339	I方式	16	351	41	8.7	200	200	400	320	
	統合デザイン学科	統合デザイン専攻	65	619	136	4.7	200	300	500	346	II方式	10	95	25	4.1	400		400	390
											I方式	8	55	25	2.4	200	300	500	337
演劇実習デザイン学科	18	21	21	1.0	200	300	500	381	II方式	16	167	75	2.1	500		500	361		
演劇実習デザイン専攻	演劇実習コース	11	33	20	1.8	200	300	500	308	I方式	25	552	85	6.7	200	200	400	287	
										II方式	18	94	35	3.2	400		400	291	
東京造形大学	美術	40	284	59	5.0	500		500	442	C方式	15	161	43	3.8	200	300	500	375	
	グラフィックデザイン	絵画	7	35	28	1.3	500		500	253	A方式	3	20	15	1.3	200	300	500	280
		彫刻	35	493	98	5.1	200	300	500	394	A方式	20	430	85	5.1	200	300	500	382
	写真	写真専攻	6	41	30	1.4	200	300	500	284	A方式	3	25	17	1.5	200	300	500	287
			7	107	36	3.1	200	300	500	363	B方式	3	41	16	2.6	200	200	400	140
	アニメーション	12	156	18	8.8	200	300	500	400	A方式	5	65	12	5.6	200	300	500	387	
	メディアデザイン	メディアデザイン専攻	12	161	58	2.8	200	300	500	358	B方式	4	117	39	3.0	200	200	400	150
			8	70	41	1.8	200	300	500	310	A方式	6	128	49	2.7	200	300	500	348
	室内建築	11	81	44	1.9	200	300	500	338	A方式	4	50	14	3.7	200	300	500	341	
	インダストリアルデザイン	インダストリアルデザイン専攻	11	81	44	1.9	200	300	500	338	B方式	4	75	37	2.0	200		200	130
			7	49	37	1.4	200	300	500	312	A方式	4	65	32	2.1	200	300	500	332
	グラフィックデザイン	7	49	37	1.4	200	300	500	312	B方式	4	73	34	2.1	200		200	140	
	女子美術大学 (A日程)	洋画専攻	20	109	36	3.1	200	300	500		I方式	15	91	45	2.0	300	300	600	
		美術学科	日本画専攻	16	64	44	1.5	200	300	500		I方式	4	48	41	1.2	300	300	600
立体アート専攻			4	6	1	6.0	200	300	500		I方式	2	5	2	3.0	300	300	600	
デザイン・工芸学科		美術教育専攻	2	7	6	1.2	200	300	500		I方式	1	6	5	1.2	300	300	600	
		芸術文化専攻	2	10	10	1.0	200	300	500		I方式	1	10	8	1.3	300	300	600	
デザイン・工芸専攻		ヴィジュアルデザイン専攻	34	223	98	2.3	200	300	500		I方式	5	164	73	2.3	300	300	600	
		プロダクトデザイン専攻	6	10	4	2.8	200	300	500		I方式	3	10	3	3.3	300	300	600	
アート・デザイン専攻		環境デザイン専攻	5	23	14	1.6	200	300	500		I方式	2	14	12	1.2	300	300	600	
		工芸専攻	10	7	5	1.2	200	300	500		I方式	2	5	3	2.3	300	300	600	
アート・デザイン専攻		メディア表現	11	74	11	7.0	200	300	500		I方式	3	49	3	16.7	300	300	600	
		ヒーリング表現	7	25	5	5.0	200	300	500		I方式	3	14	3	4.7	300	300	600	
ファッションデザイン専攻		5	19	14	1.4	200	300	500		I方式	2	20	16	1.3	300	300	600		
アートプロデュース表現		4	10	7	1.7	200	300	500		I方式	2	8	4	2.5	300	300	600		

(注) 合格者得点は昨年度のデータです。一部得点表記は小数点以下を四捨五入しています。

通信教育課程

- 油画科コース
- 日本画科コース
- デザイン・工芸科コース
- 総合受験 絵画科コース
- 総合受験 デザイン科コース
- 総合受験 建築科コース
- 総合受験 先端芸術・映像科コース
- 基礎科コース

普段は学院に通えない人達に〈確かな力をつける〉通信教育です。

本学院の通信教育は芸大・私立美大など美術系大学の受験志望者を対象としています。

遠隔地の方や部活動等で普段通学できない人達に芸大・美大の合格を目指した学習が自宅でもできるよう、基礎的な課題から実践課題まで出題し、丁寧な講評指導を行います。

また、春期・夏期・冬期講習会や直前講習会での直接指導を受けることで、大幅な実力アップが期待できます。

なお、基礎科コースは高校1、2年生を対象とし、その他の科は次年度に受験する高校3年生以上を対象としています。

POSTAL COURSE

★ 通信教育システム 制作した作品をサーバにアップ、講評動画を視聴

近年の新型コロナウイルスの感染対策期間に、通信教育のオンライン化が発達してきました。本学でも、従来の添削指導からウェブの汎用ツールを利用し、ニーズに合わせた対応を行っております。リアルタイムで面談したい場合はオンラインで時間を決めて対応可能ですし、講評は自分の好きな時間で何度も見返すことができるように、オンデマンドで動画講評を提供しています。

画用紙類郵送。(オプションで各種画材も郵送可)

↓
受講科とメールアドレスを共有。

↓
個別のアルバムをウェブ上に作成し共有。

↓
毎月課題文をメール等で送付。

↓
課題制作。(途中のプロセスも撮影アップロードするとコメントでフォロー。)

↓
作品を自分で撮影し、個別のアルバムにアップロード。

↓
学院の講師が講評を動画撮影し、個別のアルバムに返します。

★ 課題制作の順序 [制作環境/制作時間]

- 1 制作する環境を整えましょう。
モチーフを設定する台や机、イーゼル、椅子などを用意しましょう。学校の美術室などが使えれば最適です。制作時間は課題と一緒に出されます。個人のペースを作って制作して下さい。
- 2 課題表を見て制作のねらいを定めて制作しましょう。
参考作品や資料も活用しましょう。
- 3 わからない点やうまくいかないことがあれば、プロセスなどを写真に撮りアップロード後、コメントやメールで連絡をください。リアルタイムではありませんが、なるべく早めに担当講師から返信いたします。
- 4 失敗作や未完成の作品でも必ず送って下さい。
制作を積み重ねることが大切です。

- 毎月ごとに課題が出題され、アップロードされた作品に対して動画講評やコメントで指導していきます。(課題以外の作品講評も可能ですが、講評は3作品/月となります。)
- 課題ごとに基本制作時間が明示されます。● 作品の講評動画作成は、アップロードされた作品画像を確認後、1週間程度のお時間をいただきます。
- 立体作品が出題された場合は、上下左右多方向からの写真をアップロードしてください。● 平面・デッサン等の作品は、初回画用紙送付時に同梱する注意事項をよく読み、撮影、アップロードしてください。● 1学期は基礎課題が出され、応用課題・志望別課題は2学期以降を予定しています。
- 石膏像や人物を描く場合は高校の美術室など、実習可能な環境が必要となります。

撮影の注意点



絵までの距離を少し取って、絵とカメラを平行に構えましょう!



撮る際の光を意識して、暗くなりすぎない様に気をつけよう!



絵に角度がつかない様に意識して撮りましょう!



講評について



アップロードしてもらった画像を基に講評をします。その際の講評動画を配信日までに各自のアルバムへアップロードします。

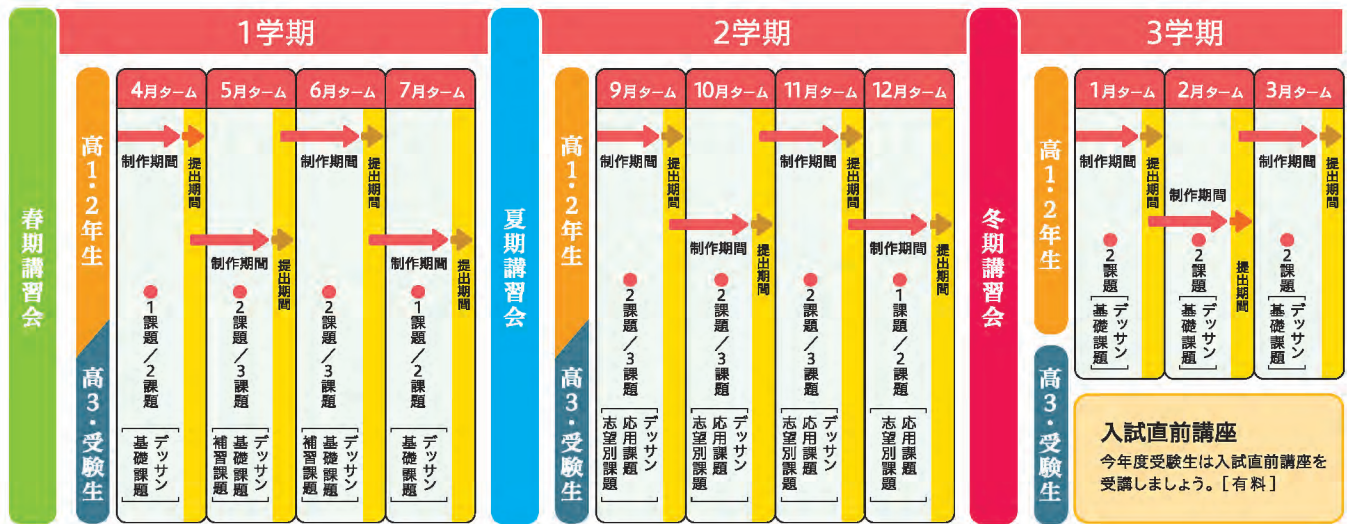


実際の作品を近くに見ながら講評を聞きましょう。



★年間スケジュール

※個々のカリキュラムにより、ひと月の課題数が変わる場合があります。



★通信教育課程 設置コースの概要

コース	課題	概要
油画科コース	デッサン (ドローイング) 油彩画	東京藝術大学、国公立大学、武蔵野美術大学、多摩美術大学、東京造形大学、女子美術大学等の絵画科、油画科の試験に対応します。あなたの個性や感性、志望大学に応じたカリキュラムを作成し、静物、人物、風景、構成等の課題を出題し描写力や表現力を磨きます。
日本画科コース	デッサン 着彩画	東京藝術大学、国公立大学、武蔵野美術大学、多摩美術大学、女子美術大学等の日本画科に対応します。日本画科は対象をよく観察して描くことを重点としています。物の配置や空間等に配慮してしっかりとした描写力をつけて下さい。石膏像、人物、静物等のモチーフを中心に鉛筆写生、着彩写生を主に出题することで自然で美しい表現力を身につけます。
デザイン・工芸科コース	デッサン 平面構成 立体構成	東京藝術大学、国公立大学、武蔵野美術大学、多摩美術大学、東京造形大学、日大、女子美術大学等のデザイン・工芸科の試験に対応します。はじめにデッサンや平面の基本をしっかり学習した上で芸大受験に必要なデッサン、平面、立体の課題を中心に出題します。私大系受験にはデッサン、モチーフ、イメージ等の平面構成や立体系空間系に即した課題で表現力を身につけます。
総合受験部 絵画科コース デザイン科コース 建築科コース 先端芸術・映像科コース	デッサン 油彩画 着彩画 平面 / 立体構成 小論文 等	総合受験部各科の内容に対応して行います。志望校相談から個別の課題・担当を決めて対策をしますので、無駄のない実習が可能です。卓上デッサンをはじめ、イメージ課題や小論文など、比較的モチーフ費用(自分で準備する)が抑えられる内容も進修教育に向いていると言えます。
基礎科コース	デッサン 着彩	東京藝術大学、国公立大学、私立美術大学の受験に必要な基礎力に対応します。石膏デッサン、静物デッサン、構成デッサンと色彩を使つての描写力や構成力をつけることを目的とし、様々な画材を体験します。
※学科特典		希望者には、本学院で行う1学期・2学期、6回の学力テスト問題が送付され、採点されます。

講座に必要な画材及び諸道具 ※課題内容により異なります。

- 油画コース / 総合受験部 絵画科コース**
 - スケッチブック ●カルトン ●クリップ ●フキサチーフ ●消し具 ●木炭、鉛筆等素描用具一式
 - 木炭紙 (MBM) 木炭紙大画用紙 TMKポスター紙 ●油彩用具一式 ●キャンパス (F15号・S12号・F20号) ※油絵具は24色以上、筆は15本以上が望ましい。
- 日本画コース / 総合受験部 絵画科コース**
 - デッサン用鉛筆 (6H~6B) ●練り消しゴム ●水彩絵具 (30~60色) ●パレット (金属製のもの)
 - 筆 (即炒、彩色、面相、平筆 etc.) ●P20パネル・白象紙水張り
 - 木炭紙大パネル・A2/木炭紙大画用紙画紙止め ●水張り用テープ (茶色)
- デザイン・工芸科コース / 総合受験部 デザイン科コース**
 - 画用紙を水張りした木炭紙大パネル (デッサン・着彩用) ●鉛筆 (6H~6B) ●練り消しゴム
 - フキサチーフ ●ケント紙を水張りしたB3パネル (平面構成用) ●アクリル絵具 ●透明水彩絵具
 - 彩色用具一式 (筆、パレット、筆洗器、etc.) ●定規類 ●コンパス ●粘土用へら
 - ※アクリル絵具、透明水彩絵具は24色以上が望ましい。※立体構成で使用される各種素材は指定の物を購入。
- 基礎科 / 総合受験部 建築科 / 総合受験部 先端芸術・映像科コース**
 - カルトン ●クリップ ●木炭 ●木炭紙 ●消し具 ●ガーゼ ●フキサチーフ ●クローキープック ●カッター
 - 鉛筆 (6H~6B) ●彩色用具一式 ●画用紙 (B3・木炭紙大) ●パネル (B3・木炭紙大)
 - キャンパス (F10号・F15号)



講評動画イメージ

無料体験・公開イベント

ここからスタートしよう!

無料体験講習

はじめての実技と受験相談は無料です。

芸大・美大受験に興味のある高校生や中学生を対象とした講習です。簡単な実技授業と受験相談を無料で体験できます。画材用具は全て本学院で用意しますので、お気軽にご参加ください。同時に保護者対象の個別受験相談も行います。



■ 用具説明

鉛筆の削り方や、木炭の芯抜き、はかり棒を使ってモチーフを観察する方法などを説明します。



■ 制作

イーゼルの位置調整や、描き始めの構図の取り方などを巡回指導します。



■ 講評会

描きあがった絵を並べて一人一人の作品にアドバイスしていきます。他の人の作品から学ぶことも沢山あります。



■ 個別面接・三者面談

美術系の進路について一人一人の志望を聞きながら説明します。保護者との三者面談もできます。

一日体験講習

来て、見て、描いて始めよう!

■ デッサン講習・個別面談

日曜日や祝祭日を利用し、比較的長めの時間でもっとも基本的なデッサンを実習します。石膏デッサン・静物デッサンに加え、想定(イメージ)デッサンも選択することが出来ます。また、実技の途中、全員に個別面談を行ないます。(希望者は保護者と三者面談もできます。) 各期講習会や入学にむけて、「はじめの一歩」となる体験講習です。

■ 静物着彩・平面構成講習

7月中旬の一日体験講習では、上記の各種デッサンに加え絵の具を使った実技も体験できます。透明水彩絵具・アクリル絵具・油絵の具から選択できますので、夏期講習前に必要な用具の使い方がわかります。もちろん用具は全て学院で用意いたしますので手ぶらで参加できます。



石膏デッサン【木炭】



静物デッサン【鉛筆】



イメージ(想定)デッサン【鉛筆】



静物着彩【水彩】

「美術予備校」に初めて行くのは勇気がいるかもしれません。

本学院では、様々な無料イベントを企画し、気軽に参加できるように案内しています。

もちろん、通常授業の見学や相談も随時受け付けておりますので、是非一度学院まで来て下さい!

無料体験入学

事前に予約して一枚無料授業。

各科の通常授業を1日~1カリキュラム無料で受講できるシステムです。原則としてデッサン実技の日程をご案内いたします。体験講習日に予定があって参加できない人や、実技経験者に最適です。高校帰りに通学時間を確認することもできます。*デッサン用具は本学で準備します。

■ご希望の科と通学可能日を学院までご相談下さい。



■折り返し、各教科カリキュラム(デッサン)と日程調整の上、実際の体験入学科・期間を提案させていただきます。



■お返事を頂いた時点でエントリー完了。あとは初日に来校して頂くだけです。

参加例_1 基礎科日曜クラスに1日参加

9:30 個別で用具説明・描き出し説明
10:00~12:30 制作・個別面談
12:30~13:30 休憩
13:30~15:30 制作
15:30~16:30 講評会もしくは個別講評

参加例_2 油画科夜間部に1週間参加

月~木	金
17:30~20:30 個別で用具説明 描き出し説明 ~制作・個別面談	17:30~19:00 ~制作 19:00~20:30 講評会

体験実技 Q & A

Q 体験講習と体験入学の違いは?

A 体験講習は体験専用のカリキュラムを土曜半日もしくは日曜・祝日の一日で行う形で、初心者が多く予め日程が決まっております。体験入学は通常の授業にご参加いただく形ですので、周りに経験者が多く、実際の授業の様子がよくわかります。

Q 体験入学の場合、何日も通わなくては行けないのですか?

A 1日だけでも参加いただけます。但し1日では、なかなか描き上げることが難しいため1枚仕上げる期間を逃えるようにしました。また、描き上がらなかった場合でも個別に講評/アドバイスをいたします。

Q 体験入学後に途中入学する場合、体験講習と同等の入学金割引・講習会入会金免除割引は受けられるのですか?

A もちろん同じ特典の対象となります。本学では説明会も含めイベントに参加された皆さまは全て同じ特典対象となります。

入試説明会

内容豊富な説明会イベント!

芸大・美大入試について科別に詳しく説明するイベントです。科毎のアトリエをご覧頂き、詳しく説明を聞くことも可能です。実技内容の説明以外にも共通する学科試験についての合格ラインや、大学での実習、本学OBによる卒業後の仕事の話など、科毎の企画内容も豊富です。



芸大・美大入試オリエンテーション

毎年夏期講習会の時期に開催する公開講座です。本学院出身の芸大・美大合格者と学院講師や参加者との座談会形式で、大学の紹介・受験生活・実技や学科の入試に関する情報やデータ等をわかりやすく解説いたします。また、東京藝術大学をはじめ、各美術大学の協力で大学資料の配布も行います。



2023年度芸大・美大 合格実績



合格者総数 **282**名 現役合格者 **172**名

東京藝術大学 **7**名

油画科 **3**名 デザイン科 **2**名 建築科 **2**名

現役 **54**名 **武蔵野美術大学** **112**名

油画	13名	視覚伝達デザイン	27名
グラフィックアーツ	5名	工芸工業デザイン	14名
日本画	5名	空間演出デザイン	17名
建築	7名	基礎デザイン	14名
映像	1名	デザイン情報	3名
芸術文化学科	2名	クリエイティブイノベーション	2名
彫刻	2名		

東京造形大学 現役 **14**名 **19**名

女子美術大学 現役 **26**名 **31**名

日大芸術学部 現役 **8**名 **11**名

現役 **37**名 **多摩美術大学** **64**名

油画	11名	グラフィックデザイン	5名
版画	3名	統合デザイン	20名
日本画	3名	情報デザイン	3名
彫刻	2名	環境デザイン	8名
工芸	5名	生産デザインテキスタイル	2名
芸術学科	2名		

国公立大学 現役 **9**名 **12**名

筑波大学 **2**名 千葉大学 **2**名 東京都立大学 **1**名
長岡造形大学 **3**名 愛知県立芸術大学 **1**名 金沢美術工芸大学 **3**名

その他
大学・専門学校 現役 **8**名 **12**名

美術系 高校受験 **17**名

(推薦・一般・共通テスト 重複/補欠 累計)

付属設備

受験生の皆さんが芸術を志す人として、より実りある実習が行えるよう、充実した設備を備えています。

■ 付属工房

入試対策としての実技だけでなく、幅広く創造力の源を求める実習の場として、版画・陶芸・彫金の各工房を設備しています。



■ 図書コーナー

画集や美術書、美術雑誌等の参考図書を多数揃えてありますので積極的に閲覧し自らの糧として下さい。



■ 画材コーナー

学院生が制作に必要な画材を割引価格で販売しています。



■ 事務受付

入学手続きや証明書発行などはもちろん、健康管理や日常生活などあらゆる面からサポートします。

■ 参考作品資料コーナー

合格者や在学生の優秀作品を保管してあります。希望者は自由に閲覧することができます。



■ 視聴覚授業

授業の中にビデオ、スライド、パソコン、液晶プロジェクターなどを採り入れ多角的な指導を行っています。



■ クロッキー教室 [土曜日] 10:00~12:30

裸婦をモデルに様々なポーズを比較的短時間(1ポーズ20分から5分まで)で描きます。これから絵を描く人、物をつくる人にとって基本的な力となるでしょう。チケット制ですので学院生に限らず自由に参加できます。



■ ロッカー、パネル・カルトン棚

個人の画材を保管するためのロッカーを無料で貸し出しています。またパネルやカルトン、キャンパスも各アトリエに配置された棚に保管できます。



■ モチーフ室・石膏室

首像から全身像までのいろいろな石膏像をはじめ、実習に必要な多種多様なモチーフをとり揃えています。



生徒支援

ふなばし美術学院は、一人一人がじっくり、
そして安心して受験に取り組めるよう、様々な制度で応援します。

通学定期・学割

本学院の本課程入学生は、通学定期・学割を利用することができます。
また、入試の際も遠隔地への交通費が割引になります。

※附帯課程は授業時間数の都合上、利用対象外となります。
また、本課程入学の場合も入学月によっては割引の対象とならない場合があります。

特待生制度

本学院には、成績優秀で情熱にあふれ、かつ経済的に困難な受験生を対象に、充実した指導・環境のもとで一年間授業料の心配なく学べる特待生制度(授業料全額免除)と、授業料の半額～一部が免除される準特待生制度があります。

● 応募資格

前期 --- 芸大・美大をめざす高校卒業生で2024年4月～翌年3月まで1年間当学院指定部科に就学できる方

後期 --- 芸大・美大をめざす高校卒業生で2024年9月～翌年3月まで半年間当学院指定部科に就学できる方

● 申込み方法

本学院所定の申し込み用紙に必要事項を記入し提出してください。
郵送・電話による申込みも受け付けます。

● 試験日

前期募集

A - 2024年3月17日
B - 2024年3月31日

申込みは
2日前まで

後期募集 --- 2024年8月下旬

● 試験内容 --- 作品審査及び面接試験

※上記は予定です。詳細は別紙「特待生募集要項」を参照して下さい。

遠隔地特待生制度

千葉県・東京都を除く他県在住の皆さんが本学への入学を希望される場合、学費の一部を減免する制度です。また、東京都内・千葉県内でも通学に長時間を要する本課程入学希望者には、通学定期券購入に加え、交通費の一部を学費から減免いたします。

授業料分納制度

1年間の授業料を年2回に分けて納入できますが、年3回またはそれ以上の回数で分納をご希望の場合は学院までお申し出ください。個別に面談の上、原則として年度内での納入を条件に、延納・分納の手続きを行います。

学生生徒災害傷害保険

本学院生が安心して生活できるよう、学内外での万が一の事故などに備え、学生生徒災害傷害保険に加入しています。
(対象:途中入学者を除く本課程学生)

国の教育ローン

入学金、授業料、アパートの敷金・家賃など、入学時や在学中に必要な資金を融資する公的な制度として、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」があります。本学院の本課程に入学・在学する学生の保護者の方は、この制度を利用することができます。

【ご融資額】 学生・生徒1人あたり350万円以内

【利率】 年2.25% (2023年10月現在)

※母子父子家庭または世帯年収(所得)200万円(132万円)以内の方は年1.85%

※(公財)教育資金融資保証基金による保証をご利用いただく場合は、別途保証料が必要です。

※利率は金融情勢によって変動しますので、お借入金利(固定)は、記載されている利率とは異なる場合があります。

【ご返済期間】 18年以内

【お使いみち】 入学金、授業料、教科書代、アパートの敷金・家賃など

※今後1年間に必要となる費用が融資の対象となります。

【ご返済方法】 毎月元金等払(毎月の返済額が一定)もしくは、元金据置払(学院卒業までの期間、当初返済額が利息分のみ)

※ボーナス時増額返済も可能です。

【保証】 (公財)教育資金融資保証基金または連帯保証人による保証です。詳しくは、教育ローンコールセンター

(TEL.0570-008656 ハローコール)までお問い合わせ下さい。

※上記の番号がご利用いただけない場合TEL.03-5321-8656までお問い合わせ下さい。入学許可証・在学証明書等、必要書類は入学申込書を提出していただきました後、本学院事務受付にて発行いたしますのでご連絡下さい。

宿泊費用補助制度

ふだん本学には遇えない通信教育課程の学生や、地方・遠隔地の皆さんが本学各期講習会等に参加する場合、学生会館をはじめ本学院所定の施設を利用するにあたって宿泊費用の一部を講習会学費から減免する制度を設けました。

宿泊施設

本学院では全国から集まる入学希望者や講習会受講者が利用しやすい宿泊施設をご紹介します。近隣の学生会館をはじめ、ウィークリー(マンスリー)マンションやビジネスホテル等、なるべく費用が安く女性でも安全な施設をご紹介します。ご希望の方は本学院事務までご相談下さい。尚、ご予約はお早めをお願いします。



保護者・教職員の皆さまへ

好きなことに熱中して自信をつけることが、成長する上で最も大切だと考えています。
ひとつのハードルを越えれば必ず次に繋がっていくでしょう。

美術を学ぶための進路(進学)

私は絵を描くのが好き、モノづくりに興味がある、将来デザイナーになりたい、など美術にまつわる夢や希望を持っている人はたくさんいると思います。しかしその夢を実現するためには、その夢に見合った学習が必要になります。多くの学生は小学校～高校の美術の授業で美術の楽しさ・すばらしさに触れたことと思いますが、それだけで専門的な知識や技術を身につけることは困難です。ですから高校卒業後に、より専門的な環境に進学する必要があります。では、美術を学ぶための進路(進学)にはどのようなものがあるのでしょうか？

① 美術大学

美術を学ぶためのあらゆる専門学科が備えられた大学。それぞれの専門分野に関してもっともハイレベルな教育が受けられる環境で、希望すれば大学院・留学など、さらに上級の学習環境に進学することも可能です。反面、入学時にある程度の専門知識・基礎技能を要求されるので、入試の実技レベルは非常に高く、入試に備えて専門的な技術・技能・知識を学び、準備する必要があります。

② 美術系学科のある大学

一般総合大学の中に美術系学科(美術系コース)を設置している大学。美術大学ほどの専門性はありませんが、いろいろな分野を広く学ぶことができるというメリットがあります。入試実技も比較的基本的な内容が多いので、興味があればすぐに進学に結びつきやすいという特徴もあります。

③ 教育系美術

国公立大学や私立大学の教育学部に設置された美術系学科をこう呼んでいます。将来美術科教員を目指す人のために美術の広範囲な分野に加え、教員として必要な知識・教養を学ぶことのできる環境です。また、なかには美術大学に匹敵する専門性を備えた大学もあります。入試では実技・学科試験の広範囲に偏りのない力を要求されますので、準備しなければならない科目・項目が多いのが特徴ですが、美術系のなかでは学科の得意な人が力を発揮できる分野です。

④ 専門学校

短期間(2～3年)で特定の技術・技能を集中的に身につけることができるので、実社会にすぐに出て活躍するチャンスがあるのが特徴です。将来に目指す職業が明確で、それに必要な技術を身につけたいのであればメリットが高いですが、学習できる範囲や時間も限定されるので、いろいろなことを広範囲に学びたいと考える人にはマッチしないことがあります。入試は面接や調査書の審査が中心ですが、桑沢デザイン専門学校のように、美術大学に匹敵する人気のある学校には、ハイレベルな実技試験が課されます。

このように、美術を学ぶにはいくつかの環境があります。当学院では学生との面接や、卒業生を招いての説明会・オリエンテーション等で、最適な進路選択ができるよう各科でサポートをしています。

美術系の進路と就職について

美大に進学して勉強しようという動機には、大きくふたつの考え方があるでしょう。ひとつは自分の将来目標が明確で、その目標に向かって進学する専攻も絞り込んでゆく。例えば「将来カーデザイナーになりたいので工業デザインの勉強しよう!」といったように直接的な選択です。

もうひとつは、美術は大好き・モノづくりにとても興味があるけれど、それが将来の職業とは直接結びついてイメージできないので、まずは今興味のあることを勉強したい!という間接的な考え方です。

しかしながら、美術系の進路とは、いうなれば視覚的なモノを扱う分野すべてが対象になりますから、その動機に見合った進路選択をどのようにしたらよいのか迷うところです。そこで、現在美大生が卒業後どのような進路を選択しているかを知ることが、選んで美術大学の専攻(専門分野)を選択する手助けになるでしょう。

美大生の卒業後の進路(職業)の代表的なふたつの例

I 大学で学んだ専門知識・専門技能を活かした進路

II 大学で学んだ専門分野はそれぞれ違っても、共通する基礎的な能力・技能を活かすことのできる進路

デザインや建築の分野は比較的 I のような進路選択が多い様です。反対にファインアートの分野(絵画・彫刻・一部工芸など)では、作品づくりや表現活動と職業(収入を得られるという意味で)が直接結びつかないこともあるので、II のような選択で就職するケースも多くあります。また、ほとんどの美術大学で教職免許と学芸員資格を取得できますので、資格を活かした就職をする場合も多くみられます。

ここで話せることは限られてしまいますが、体験講習会や各種説明会の場を通していろいろなご案内をさせていただきますので、ぜひ一度直接お話しできれば幸いです。

出張講習会 / 進学説明会



芸大・美大を目指す学生や、美術・デザイン・建築などに興味を抱く高校生を対象にふなばし美術学院の指導スタッフが各地の高校等に直接お伺いして、講習会・進学説明会を実施します。入試の最新の情報や将来の展望などを、本学院の所蔵する参考作品やデータを基にわかりやすく指導・解説いたします。芸大・美大進路指導の一助になれば幸いです。

※連絡先: ふなばし美術学院教務課 047-422-6870

環境

本学院は、県内随一の伝統と50年以上の歴史を誇る「確かな実績のある」芸大・美大受験のための研究所です。東京から30分以内という交通の便利な位置にあり、東京藝術大学をはじめとして各美術大学や美術館・博物館等にも近く、優れた芸術作品を身近に感じることができる大変恵まれた環境にあるといえます。また、ディズニーランドや幕張メッセなど様々な施設があることで、活気に満ちた地域といえるでしょう。学院までの交通手段も非常に豊富で、JR総武線をはじめ、京葉線・武蔵野線・東京メトロ東西線・東葉高速鉄道・東武野田線・京成線・新京成線などの各線が利用できるなど、通学にも大変便利です。



■国立西洋美術館



■東京国立博物館

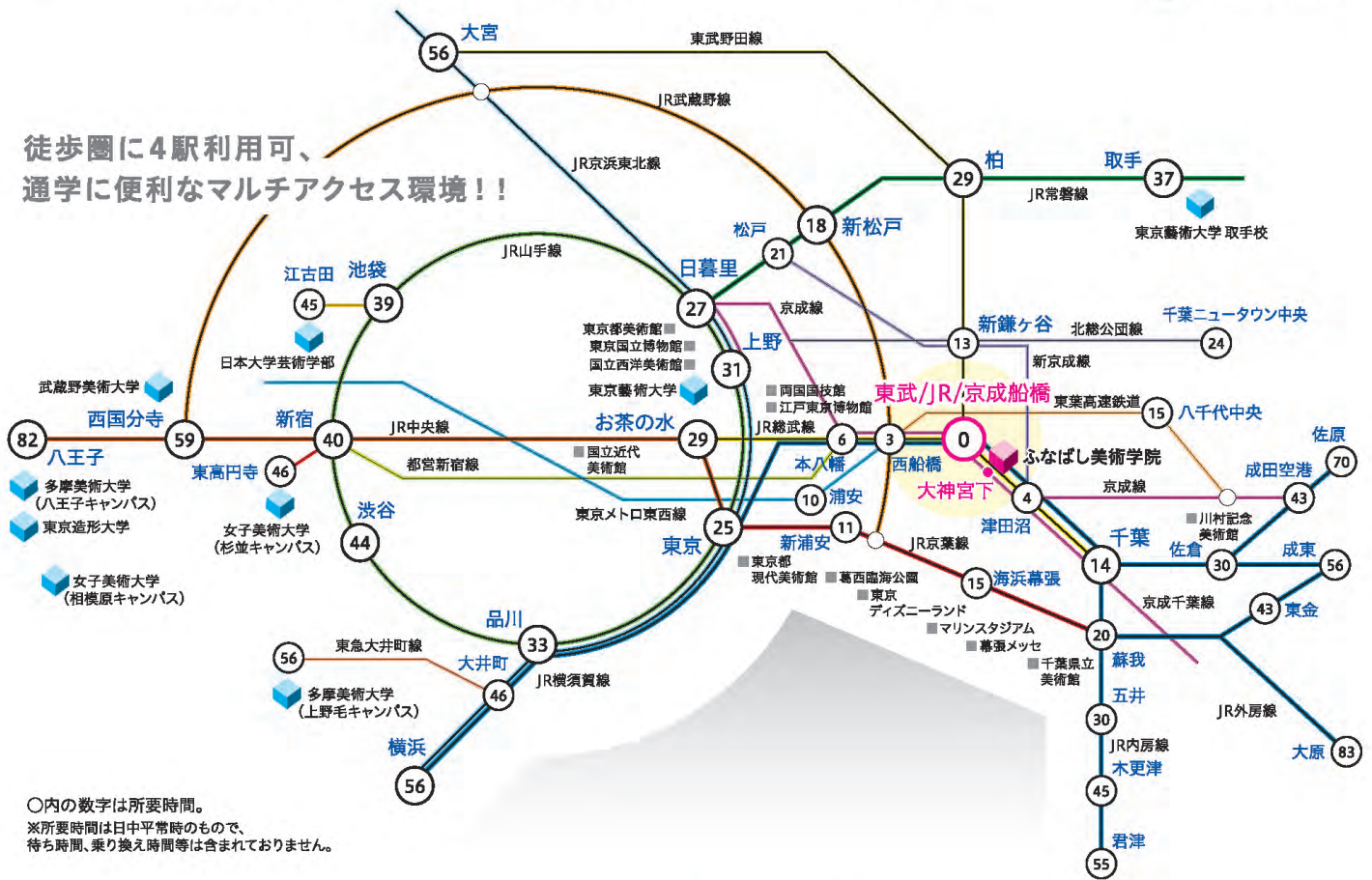


■江戸東京博物館



■東京藝術大学取手校

徒歩圏に4駅利用可、
通学に便利なマルチアクセス環境！！



■武蔵野美術大学



■東京藝術大学上野校



■川村記念美術館



■多摩美術大学



■東京造形大学



■女子美術大学



■ふなばし美術学院 宮本第二校舎

ふなばし美術学院 沿革

- 昭和42年10月 ●船橋美術研究所創立(船橋市市場に創設)
- 昭和44年10月 ●ふなばし美術学院と改称(千葉県知事の認可を得る)
 - 「油画科」「デザイン・工芸科」「基礎科」を設置
 - 学科講座を開設
- 昭和63年5月 ●現在の宮本校舎に移転(市場校舎は一般部のみの授業)
 - 美術図書室開設
- 平成5年 10月 ●現在の宮本第2校舎を落成
- 平成7年 4月 ●新たに「日本画科」を設置し、認可を得る
- 平成8年 12月 ●市場校舎から宮本校舎に全面移転
- 平成11年 4月 ●参考作品室開設
- 平成12年 4月 ●「映像科」「建築科」を設置
- 平成15年 4月 ●「先端芸術表現科」を設置
- 平成21年 9月 ●「通信教育課程」を設置
- 平成23年 4月 ●基礎科「中学生コース」を設置
- 平成28年10月 ●こども絵画教室を設置
- 令和 4年10月 ●創立55周年



●JR総武線船橋駅南口・東武野田線船橋駅・京成線船橋駅より徒歩15分 ●京成線大神宮下駅より徒歩5分

www.funabi.ac.jp から最新の情報を発信中!!

ふなばし美術学院のアドレスは、
大学等と同じ信頼の「.ac.jp」ドメインです。
各種イベントや講習会情報、パンフレット等に掲載しきれない参考
作品など情報満載でお届けします。
また、体験入学もウェブサイトからお申し込みいただけます。
各種検索ページからは「ふなばし美術」でクリック!!



個人情報の保護に関して

本学院では、申込書に記入いただいた個人情報は厳重に管理・取扱いを行い、下記の利用
目的以外では一切使用致しません。また、取扱いを外部に委託することも致しません。

【利用目的】

授業に関わる情報や通知などの連絡、送付・本人と特定されない方式での統計資料の作成。

指導スタッフ

学院長

鈴木 太一郎 武蔵野美術大学映像学科卒

副学院長

佐藤 孝志 東京藝術大学絵画科油画専攻大学院修了

油画科 OIL PAINTING

佐藤 孝志 東京藝術大学絵画科油画専攻大学院修了
子安 謙志 東京藝術大学絵画科油画専攻大学院修了
大関 千里 東京藝術大学絵画科油画専攻大学院修了
石橋 聖昂 東京藝術大学絵画科油画専攻卒
岩田 駿一 東京藝術大学絵画科版画専攻大学院修了
川野 裕有希 東京藝術大学絵画科油画専攻大学院在学
馬淵 明日香 東京藝術大学絵画科油画専攻大学院在学
奥山 鼓太郎 東京藝術大学絵画科油画専攻大学院在学
横山 輝 東京藝術大学絵画科油画専攻在学
佐藤 弥太郎 東京藝術大学絵画科油画専攻在学

日本画科 JAPANESE PAINTING

吉田 有紀 多摩美術大学大学院美術研究科絵画専攻修了
吉田 瑞佳 東京藝術大学絵画科日本画専攻卒
田村 幸帆 東京藝術大学絵画科日本画専攻大学院修了
木村 十明 東京藝術大学絵画科日本画専攻大学院在学
吉崎 徳望 武蔵野美術大学日本画学科卒
鈴木 悠花 東京藝術大学絵画科日本画専攻在学
桑名 健太 東京藝術大学絵画科日本画専攻在学

デザイン・工芸科 DESIGN & CRAFT

平田 創 東京藝術大学デザイン科卒
田中 健 東京藝術大学工芸科卒デザイン科大学院修了
天明 里奈 東京藝術大学工芸科大学院修了
龍島 愛 東京藝術大学デザイン科卒デザイン科大学院修了
藤田 匠 東京藝術大学デザイン科卒
橋本 泰 東京藝術大学工芸科卒
會津 実香 東京藝術大学デザイン科大学院在学
古瀬 彩香 東京藝術大学デザイン科在学
白井 久瑠見 東京藝術大学デザイン科在学
鈴木 遥香 東京藝術大学工芸科在学
長崎 陽大 多摩美術大学グラフィックデザイン学科在学
長谷川 楓 武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科在学
大橋 慶太郎 武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科在学
松嶋 桃子 武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科在学
宮内 まりか 武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科在学

総合受験部 絵画科 PAINTING

子安 謙志 東京藝術大学絵画科油画専攻大学院修了

総合受験部 デザイン科 DESIGN

吉岡 真由子 多摩美術大学工芸学科卒
長谷川 楓 武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科在学
鈴木 果穂 武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科卒
外戸口 麻衣 東京藝術大学工芸科大学院在学

総合受験部 芸術芸術・映像科 MEDIA ARTS & IMAGE

鈴木 太一郎 武蔵野美術大学映像学科卒
貝和 由佳子 東京藝術大学映像研究科大学院修了
澤木 秋乃 武蔵野美術大学映像学科卒
鷹取 詩穂 東京藝術大学先端芸術表現科卒GAP専攻大学院在学
東方 香央海 武蔵野美術大学大学院映像・写真コース在学
笠次 優爾 東京藝術大学先端芸術表現科在学

総合受験部 建築科 ARCHITECTURE

谷口 菜優 東京藝術大学建築科大学院在学
市原 舞 東京藝術大学建築科在学
松井 康平 東京藝術大学建築科在学
阿瀬 康太 東京藝術大学建築科在学
中嶋 美来 東京藝術大学建築科在学
森 悠夏 東京藝術大学建築科在学
押元 伽弥 東京藝術大学建築科在学
茂木 美律 東京藝術大学建築科在学

基礎科 BASIC SECTION (中学生コース含む)

松本 次郎 多摩美術大学絵画科油画専攻大学院修了
田中 宏枝 東京藝術大学工芸科卒
吉岡 真由子 多摩美術大学工芸科卒
船越 大祐 東京藝術大学絵画科日本画専攻卒
石神 雄介 東京藝術大学絵画科油画専攻卒
田村 幸久 多摩美術大学絵画科油画専攻卒
阿部 弘佳 多摩美術大学絵画科油画専攻卒
鈴木 果穂 武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科卒
光本 あかり 武蔵野美術大学日本画学科卒
外戸口 麻衣 東京藝術大学工芸科大学院在学
星野 萌 東京藝術大学工芸科卒
塩川 結斗 東京藝術大学工芸科大学院在学
仲村 浩一 武蔵野美術大学油画科在学
長谷川 楓 武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科在学
沖村 千那実 武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科在学
川口 琉奈 東京藝術大学デザイン学科在学
青山 一路 武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科在学
佐藤 瑞生 東京藝術大学デザイン学科在学

学科 LECTURE

木村 聡子 京都市立芸術大学美術科卒
益光 えり子 上智大学短期大学部卒



| OIL PAINTING | JAPANESE PAINTING | DESIGN & CRAFT
| FEW DAYS CLASS | MEDIA ARTS & IMAGE | ARCHITECTURE
| BASIC SECTION | BASIC JUNIOR | POSTAL COURSE | LECTURE



〒273-0003 千葉県船橋市宮本 2-3-1 [E-mail] info@funabi.ac.jp [Tel] 047-422-6870 [Fax] 047-425-0499

